

A61K 医療用製剤，歯科用製剤又は化粧品用製剤 (薬物を特定の物理的または投与形態に変化させるのに特に適合した装置または方法 A 6 1 J 3 / 0 0 ; 空気の脱臭用品，殺菌または消毒用品，あるいは包帯，被覆用品，吸収性パッド，または手術用品のための物質の使用又は化学的事項 A 6 1 L ; 石鹼の組成 C 1 1 D)

注

(1) このサブクラスは，その組成物（混合物）としての表現であれ，組成物の製法としての表現であれ，または組成物を用いる治療方法としての表現であれ，次の主題を包含する。

(a) 以下のことが可能な医薬又は生物学的組成物：
寄生有機体を破壊するような手段によって生体の異常または病的状態を予防し，軽減し，処置または治療させるか，あるいは宿主また寄生体の生理状態を化学的に変化させることによって疾病あるいは異常の程度を制限すること（殺生物剤 A 0 1 N 2 5 / 0 0 ~ A 0 1 N 6 5 / 0 0）；

生理的身体機能を維持，増加，減少，制限，または破壊すること，例．ビタミン組成物，不妊剤，生殖阻害剤，生長促進剤など（無脊椎動物，例．昆虫，の不妊剤 A 0 1 N ; 植物生長調節剤 A 0 1 N 2 5 / 0 0 ~ A 0 1 N 6 5 / 0 0）；[1，7]

生体内試験によって生理学的状態を診断すること，例．X線造影剤，スキンパッチテスト組成物（酵素または微生物を含む測定または試験方法 C 1 2 Q，生物学的物質，例．血液，尿，の生体外テスト G 0 1 N，例．G 0 1 N 3 3 / 4 8）；

(b) 一般に人体を防臭，保護，美化あるいは清潔にするための人体処置組成物，例．化粧品，歯磨き，歯の充填剤

(2) Cセクションのタイトルの後の化学元素のグループの定義に注意すること

(3) クラス C 0 7 の注に注意する。例えば，サブクラス C 0 7 D のタイトルに続く注は，当該クラスにおける有機化合物の分類に適用される規則を前もって規定するが，他の指示がなければ，A 6 1 K における有機化合物分類にも適用される。[8]

(4) このサブクラスでは，グループ A 6 1 K 8 / 0 0 および A 6 1 K 4 0 / 0 0 を除き，ラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所に分類する。

(5) 医薬製剤の治療活性については，さらにサブクラス A 6 1 P にも分類する。[7]

サブクラス内の索引

歯科用製剤.....	6/00
化粧品，香料.....	8/00
薬剤の調製	
形状に特徴があるもの.....	9/00
活性成分に特徴があるもの	
有機活性成分.....	31/00, 38/00
無機活性成分.....	33/00
動物，原生生物，バクテリアまたはウイルスからの物質	35/00
藻類，菌類，地衣類，または植物からの物質.....	36/00
抗原又は抗体を含むもの.....	39/00
免疫療法のための細胞を含むもの.....	40/00
波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することにより得られるもの.....	41/00, 51/00

その他の活性成分.....	45/00
担体.....	47/00
遺伝子物質を含有する医療用製剤，遺伝子治療.....	48/00
生体内での検査のためのもの.....	49/00, 50/00, 51/00

6/00 歯科用製剤 [2 0 2 0 . 0 1]

- 6/15 ・ それらの物理的特性に特徴のある組成物 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/16 ・ ・ 屈折率 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/17 ・ ・ 粒子径 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/18 ・ ・ 歯科退縮を引き起こすもの，例．歯科用押印作製または抜歯のための歯肉溝拡張用の組成物 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/19 ・ ・ 自己膨張，例．歯の充填のための [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/20 ・ 自然歯または人工歯のための保護被覆，例．密封，染料被覆またはワニス [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/25 ・ 検出または測定のための組成物，例．自然歯または人工歯の異常 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/30 ・ 一時的にまたは永久的に歯または口蓋を固定するための組成物，例．歯科用接着剤用プライマー [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/35 ・ ・ 口内の義歯を安定させるための製剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/40 ・ プライマー（歯科用接着剤用のもの A 6 1 K 6 / 3 0）[2 0 2 0 . 0 1]
- 6/50 ・ 歯根処理に特に適合した製剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/52 ・ ・ 洗浄；殺菌 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/54 ・ ・ 充填；密封 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/56 ・ ・ 根尖治療 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/58 ・ ・ 歯科インプラントに特に適合したもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/60 ・ 有機または有機金属添加物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/61 ・ ・ 陽イオン性，陰イオン性または酸化還元開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/62 ・ ・ 光化学ラジカル開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/64 ・ ・ 熱ラジカル開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/65 ・ ・ 染料 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/66 ・ ・ フォトクロミック染料 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/68 ・ ・ サーモクロミック染料 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/69 ・ ・ 医薬品 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/70 ・ 無機添加物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/71 ・ ・ 充填剤 [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/72 ・ ・ 窒素含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 6/73 ・ ・ 硫黄含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]

A 6 1 K

6/74 ・・・・リン含有化合物を含むもの〔2020.01〕
 6/75 ・・・・アパタイト〔2020.01〕
 6/76 ・・・・ケイ素含有化合物を含むもの〔2020.01〕
 6/77 ・・・・ガラス〔2020.01〕
 6/78 ・・・・顔料〔2020.01〕
 6/79 ・・・・開始剤〔2020.01〕
 6/80 ・人工歯，充填歯または被覆歯のための製剤〔2020.01〕
 6/802 ・・・・セラミックスを含むもの〔2020.01〕
 6/804 ・・・・酸化マンガンを含むもの〔2020.01〕
 6/807 ・・・・酸化マグネシウムを含むもの〔2020.01〕
 6/809 ・・・・酸化ベリリウムを含むもの〔2020.01〕
 6/811 ・・・・酸化クロムを含むもの〔2020.01〕
 6/813 ・・・・酸化鉄を含むもの〔2020.01〕
 6/816 ・・・・酸化チタンを含むもの〔2020.01〕
 6/818 ・・・・酸化ジルコニウムを含むもの〔2020.01〕
 6/82 ・・・・酸化ハフニウムを含むもの〔2020.01〕
 6/822 ・・・・希土類金属酸化物を含むもの〔2020.01〕
 6/824 ・・・・遷移金属酸化物を含むもの〔2020.01〕
 6/827 ・・・・白榴石〔2020.01〕
 6/829 ・・・・サーメット複合物を含むもの〔2020.01〕
 6/831 ・・・・非金属元素またはそれらの化合物を含むもの，例．炭素〔2020.01〕
 6/833 ・・・・ガラスーセラミック複合物〔2020.01〕
 6/836 ・・・・ガラス〔2020.01〕
 6/838 ・・・・燐化合物，例．アパタイト〔2020.01〕
 6/84 ・・・・金属または合金を含むもの〔2020.01〕
 6/842 ・・・・希土類金属〔2020.01〕
 6/844 ・・・・貴金属〔2020.01〕
 6/847 ・・・・アマルガム〔2020.01〕
 6/849 ・・・・無機セメントを含むもの〔2020.01〕
 6/851 ・・・・ポルトランドセメント〔2020.01〕
 6/853 ・・・・ケイ酸塩〔2020.01〕
 6/856 ・・・・ボゾラン〔2020.01〕
 6/858 ・・・・硫酸カルシウム，例．石こう〔20

20.01〕
 6/86 ・・・・A1ーセメント〔2020.01〕
 6/862 ・・・・CaーA1ー硫酸ーセメント〔2020.01〕
 6/864 ・・・・燐酸セメント（アパタイトA61K6/838）〔2020.01〕
 6/867 ・・・・アンモニウムセメント〔2020.01〕
 6/869 ・・・・ゼオライト〔2020.01〕
 6/871 ・・・・石英；SiO₂〔2020.01〕
 6/873 ・・・・炭酸塩〔2020.01〕
 6/876 ・・・・酸化カルシウム〔2020.01〕
 6/878 ・・・・酸化ジルコニウム〔2020.01〕
 6/88 ・・・・酸化クロム〔2020.01〕
 6/882 ・・・・炭化物〔2020.01〕
 6/884 ・・・・天然または合成樹脂を含むもの〔2020.01〕
 6/887 ・・・・炭素ー炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる化合物〔2020.01〕
 6/889 ・・・・ポリカルボン酸セメント；グラスアイオノマーセメント〔2020.01〕
 6/891 ・・・・炭素ー炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる化合物〔2020.01〕
 6/893 ・・・・ポリウレタン〔2020.01〕
 6/896 ・・・・ポリオルガノシリコン化合物〔2020.01〕
 6/898 ・・・・多糖類〔2020.01〕
 6/90 ・歯科用押印採取のための組成物〔2020.01〕
 8/00 化粧品あるいは類似化粧品製剤〔2006.01〕

注

化粧品または類似化粧品製剤の使用は，サブクラスA61Qにも分類する。

8/02 ・特別な物理的形態に特徴があるもの〔8〕

注

このグループにおいては，ラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないときは，最後の適切な箇所に分類する。〔8〕

8/03 ・・・・2またはそれ以上の異なる層を有する液状組成物〔8〕

8/04 ・・・・分散，乳化〔8〕

8/06 ・・・・乳化〔8〕

8/11 ・・・・カプセル化された組成物〔8〕

8/14 ・・・・リボソーム〔8〕

8/18 ・組成に特徴があるもの〔8〕

注

このグループにおいては，ラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないときは，最後の適切な箇所に分類する。〔8〕

8/19 ・・・・無機配合成分を含むもの〔8〕

8/20	・・・ハロゲン；その化合物 [8]	8/65	・・・コラーゲン；ゼラチン；セラチン；その誘導体または分解生成物 [8]
8/21	・・・ふっ化物；その誘導体 [8]	8/66	・・・酵素 [8]
8/22	・・・過酸化物；酸素；オゾン [8]	8/67	・・・ビタミン [8]
8/23	・・・硫黄；セレン；テルル；その化合物 [8]	8/68	・・・スフィンゴリピド，例．セラミド，セレブロシド，ガングリオシド [8]
8/24	・・・リン；その化合物 [8]	8/69	・・・フッ素を含むもの [8]
8/25	・・・シリコン；その化合物 [8]	8/70	・・・パーフルオロ基を含むもの，例．パーフルオロエーテル [8]
8/26	・・・アルミニウム；その化合物 [8]	8/72	・・・有機高分子化合物を含むもの [8]
8/27	・・・亜鉛；その化合物 [8]	8/73	・・・多糖類 [8]
8/28	・・・ジルコニウム；その化合物 [8]	8/81	・・・炭素－炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるもの [8]
8/29	・・・チタン；その化合物 [8]	8/84	・・・炭素－炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られるもの [8]
8/30	・・・有機化合物を含むもの [8]	8/85	・・・ポリエステル [8]
8/31	・・・炭化水素 [8]	8/86	・・・ポリエーテル [8]
8/33	・・・酸素を含むもの [8]	8/87	・・・ポリウレタン [8]
8/34	・・・アルコール [8]	8/88	・・・ポリアミド [8]
8/35	・・・ケトン，例．キノン，ベンゾフェノン [8]	8/89	・・・ポリシロキサン [8]
8/36	・・・カルボン酸；その塩または無水物 [8]	8/891	・・・飽和状態にあるもの，例．ジメチコン，フェニルトリメチコン，C 2 4－C 2 8 メチコン又はステアリル・ジメチコン [8]
8/362	・・・ポリカルボン酸 [8]	8/892	・・・ヒドロキシ基により修飾されているもの，例．ジメチコノール [8]
8/365	・・・ヒドロキシカルボン酸；ケトカルボン酸 [8]	8/893	・・・アルコキシ又はアリルオキシ基により修飾されているもの，例．ベヘノキシジメチコン又はステアロキシジメチコン [8]
8/368	・・・芳香族環の炭素原子に直接結合したカルボン基を有するもの [8]	8/894	・・・ポリオキシアルキレン基により修飾されているもの，例．セチルジメチコンコポリオール [8]
8/37	・・・カルボン酸エステル [8]	8/895	・・・不飽和の脂肪族基に結合したシリコンを含むもの，例．ビニルジメチコン [8]
8/38	・・・過酸化物，例．過酸 [8]	8/896	・・・シリコン，炭素，酸素および水素以外の原子を含むもの，例．リン酸ジメチコンコポリオール [8]
8/39	・・・2 から 1 0 のオキシアルキレン基を含む誘導体 [8]	8/897	・・・ハロゲンを含むもの，例．フルオロシリコン [8]
8/40	・・・窒素を含むもの（窒素を含むキノン A 6 1 K 8 / 3 5） [8]	8/898	・・・窒素を含むもの，例．アモジメチコン，トリメチルシリルアモジメチコン又はジメチコンプロピル P G ベタイン [8]
8/41	・・・アミン [8]	8/899	・・・硫黄を含むもの，例．P G プロピルジメチコンチオ硫酸 N a コポリオール [8]
8/42	・・・アミド [8]	8/90	・・・ブロック共重合体（A 6 1 K 8 / 8 9 が優先） [8]
8/43	・・・グアニジン [8]	8/91	・・・グラフト共重合体（A 6 1 K 8 / 8 9 が優先） [8]
8/44	・・・アミノカルボン酸またはその誘導体，例．硫黄を含むアミノカルボン酸；塩，エステルまたはその N アシル化誘導体 [8]		
8/45	・・・2 から 1 0 のオキシアルキレン基を含む誘導体 [8]		
8/46	・・・硫黄を含むもの（A 6 1 K 8 / 4 4 が優先） [8]		
8/49	・・・複素環式化合物を含むもの [8]		
8/55	・・・りんを含むもの [8]		
8/58	・・・炭素，水素，ハロゲン，酸素，窒素，硫黄またはりん以外の原子を含むもの [8]		
8/60	・・・糖類；その誘導体 [8]		
8/63	・・・ステロイド；その誘導体 [8]		
注			
このグループには，サブクラス C 0 7 J のタイトルに続く注（1）で定義されているステロイドが含まれる。 [8]			
8/64	・・・蛋白質；ペプチド；その誘導体または分解生成物 [8]		

A 6 1 K

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 8/92 | ・・油、脂肪またはろう；その誘導体，例。
水素化物〔8〕 | 9/12 | ・・エアゾール；泡沫剤〔2，3〕 |
| 8/96 | ・・構造不明の物質またはその誘導体を含むもの〔8〕 | 9/127 | ・・合成二重層ビヒクル，例．リポソーム
または唯一の非ホスファチジル界面活性
剤としてコレステロールを含むリポソ
ーム〔2025.01〕 |
| 8/97 | ・・・藻類，菌類，地衣類または植物由来
のもの；それらの派生物由来のもの〔2
017.01〕 | 9/1271 | ・・・非従来のリポソーム，例．PEG
化リポソーム，またはポリマーで被覆さ
れたまたはグラフト化されたリポソーム
（結合体としてのリポソームA61K4
7/69）〔2025.01〕 |
| 8/9706 | ・・・・藻類〔2017.01〕 | 9/1272 | ・・・・二重層形成物質としての非ホスフ
ァチジル界面活性剤を含むもの，例．カ
チオン性脂質またはポリマーで被覆され
たまたはグラフト化された非ホスファチ
ジルリポソーム（修飾剤としての脂質A
61K47/54）〔2025.01〕 |
| 8/9711 | ・・・・・褐藻植物〔褐藻類〕，例．ヒバマ
タ〔2017.01〕 | 9/1273 | ・・・・ポリマーソーム；重合可能なまた
は重合した二重層形成物質を含むリポソ
ーム〔2025.01〕 |
| 8/9717 | ・・・・・紅藻植物〔紅藻類〕，例．ノリ〔2
017.01〕 | 9/1274 | ・・・非ベシクルの二重層構造，例．液晶，
細管，キュービック相またはコクリエー
ト；スポンジ相〔2025.01〕 |
| 8/9722 | ・・・・・緑藻植物〔緑藻類〕，例．クロレ
ラ〔2017.01〕 | 9/1275 | ・・・リポ蛋白またはその非蛋白質部分，
例．カイロミクロン；人工高密度リポ蛋
白〔HDL〕，低密度リポ蛋白〔LDL〕
または超低密度リポ蛋白〔VLDL〕；こ
れらの前駆体〔2025.01〕 |
| 8/9728 | ・・・・菌類，例．酵母〔2017.01〕 | 9/1276 | ・・・乳脂肪球；その構成成分〔2025.
01〕 |
| 8/9733 | ・・・・地衣類〔2017.01〕 | 9/1277 | ・・・調製プロセス；プロリポソーム〔2
025.01〕 |
| 8/9739 | ・・・・コケ植物門〔コケ類〕〔2017.
01〕 | 9/1278 | ・・・・ポストローディング，例．イオン
勾配またはpH勾配によるもの〔202
5.01〕 |
| 8/9741 | ・・・・シダ植物門〔シダ類〕〔2017.
01〕 | 9/14 | ・粒状剤，例．散剤（マイクロカプセルA
61K9/50）〔2〕 |
| 8/9749 | ・・・・・シダ綱〔2017.01〕 | 9/16 | ・・塊状剤；顆粒剤；マイクロビーズレッ
ト〔2〕 |
| 8/9755 | ・・・・裸子植物門〔球果植物門〕〔201
7.01〕 | 9/18 | ・・吸着剤〔2〕 |
| 8/9761 | ・・・・・ヒノキ科〔イトスギ科〕，例．ビ
ャクシンまたはイトスギ〔2017.0
1〕 | 9/19 | ・・凍結乾燥によるもの〔6〕 |
| 8/9767 | ・・・・・マツ科，例．マツまたはヒマラ
ヤスギ〔2017.01〕 | 9/20 | ・丸剤，ひし形剤または錠剤〔2〕 |
| 8/9771 | ・・・・・イチョウ門，例．イチョウ科〔2
017.01〕 | 9/22 | ・・持続または徐放型のもの〔2〕 |
| 8/9778 | ・・・・・マオウ門，例．マオウ科〔モルモ
ンティー科〕〔2017.01〕 | 9/24 | ・・・層状または薄片状の単一投与形体〔2〕 |
| 8/9783 | ・・・・被子植物門〔2017.01〕 | 9/26 | ・・・支持体中に別個の粒子を有するもの
〔2〕 |
| 8/9789 | ・・・・・モクレン綱〔双子葉植物〕〔20
17.01〕 | 9/28 | ・・糖衣錠；被覆された丸剤または錠剤〔2〕 |
| 8/9794 | ・・・・・ユリ綱〔単子葉植物〕〔2017.
01〕 | 9/30 | ・・・有機被覆剤〔2〕 |
| 8/98 | ・・・動物由来のもの〔8〕 | 9/32 | ・・・・固体合成ポリマーを含有するもの
〔2〕 |
| 8/99 | ・・・藻類または菌類以外の微生物由来の
もの，例．原生動物またはバクテリア〔2
017.01〕 | 9/34 | ・・・・天然ゴムまたは樹脂を含有するも
の〔2〕 |
| 9/00 | 特別な物理的形態によって特徴づけられた
医薬品の製剤 | 9/36 | ・・・炭水化物またはその誘導体を含有
するもの（A61K9/34が優先）〔2〕 |
| 9/02 | ・座剤；ブジー；座剤またはブジー用基剤
（製造装置A61J3/08；体内に導
入するための器具A61M31/00） | | |
| 9/06 | ・軟膏；軟膏基剤（製造装置A61J3/
04） | | |
| 9/08 | ・溶液剤〔2，3〕 | | |
| 9/10 | ・分散剤；乳剤〔2，3〕 | | |
| 9/107 | ・・エマルジョン〔5〕 | | |
| 9/113 | ・・・複合エマルジョン，例．油／水／油
〔5〕 | | |

- 9/38 ・・・・蛋白質またはその誘導体を含むもの〔2〕
- 9/40 ・・・・ゼラチン含有のもの〔2〕
- 9/42 ・・・・ろう，高級脂肪酸，高級脂肪アルコールまたはそれらの誘導体，例．チョコレート，を含むもの〔2〕
- 9/44 ・・印刷された，浮彫りのある，みぞ付きのまたは穴のあいたもの〔2〕
- 9/46 ・・起泡性のもの〔2〕
- 9/48 ・カプセル製剤，例．ゼラチン製のもの，チョコレート製のもの〔2〕
- 9/50 ・・マイクロカプセル（A 6 1 K 9／5 2 が優先）〔2〕
- 9/51 ・・・・ナノカプセル〔5〕
- 9/52 ・・持続または徐放型のもの〔2〕
- 9/54 ・・・・異なる厚さまたは異なる物質で被覆された粒子を種々含有するもの〔2〕
- 9/56 ・・・・有機被覆剤〔2〕
- 9/58 ・・・・固体合成ポリマーを含むものの〔2〕
- 9/60 ・・・・天然ゴムまたは樹脂を含むもの〔2〕
- 9/62 ・・・・炭水化物またはその誘導体を含むもの（A 6 1 K 9／6 0 が優先）〔2〕
- 9/64 ・・・・蛋白質またはその誘導体を含むもの〔2〕
- 9/66 ・・・・乳剤，分散剤または溶液剤を含むもの〔2〕
- 9/68 ・チュウイングガム型〔2〕
- 9/70 ・布，シートまたは繊維基材〔2〕
- 9/72 ・喫煙用または吸入用医薬品製剤〔2〕

注

（１）組成物，すなわち２以上の成分の混合物は，これらの成分のうち少なくとも１つを規定しているグループ 3 1／0 0 ～4 7／0 0 のうち最後のグループに分類する。その成分は単一の化合物またはその他の単一の構成要素であることもある。〔8〕

（２）注（１）による分類では特定されず，それ自体が新規かつ非自明であると判断された組成物の何れの部分も，グループ 3 1／0 0 ～4 7／0 0 の最後の適切な箇所にも分類しなければならない。この部分は，単一の成分または組成物自体の何れかであり得る。〔8〕

（３）注（１）または（２）による分類では特定されず，検索に重要な情報であると思われる組成物の何れの部分も，グループ 3 1／0 0 ～4 7／0 0 の最後の適切な箇所にも分類することができる。これは，例えば分類記号の組合わせを使用した組成物の検索が可能なることが有益であると考えられる場合などにあり得る。このような非義務的分類は，“付加情報”として表示すべきである。〔8〕

31/00 有機活性成分を含む医薬品製剤〔2〕

注

（１）重金属と塩または複合体を形成する活性成分である有機

化合物は，これに反する指示がない限り，グループ 3 1／2 8，3 1／5 5 5 または 3 1／7 1 3 5 には分類されない。すなわち，ヘミン 3 1／5 5 5〔7〕

（２）このグループにおいて，“さらに複素環を含む”および“複素環と縮合した”という表現には，２以上の複素環を有する化合物を包含する。〔7〕

- 31/01 ・炭化水素〔2〕
- 31/015 ・・炭素環式のもの〔2〕
- 31/02 ・ハロゲン化炭化水素〔2〕
- 31/025 ・・炭素環式のもの〔2〕
- 31/03 ・・・・芳香族のもの〔2〕
- 31/035 ・・脂肪族不飽和結合を有するもの〔2〕
- 31/04 ・ニトロ化合物〔2〕
- 31/045 ・ヒドロキシ化合物，例．アルコール；その塩，例．アルコール（ヒドロパーオキシド A 6 1 K 3 1／3 2 7）〔2，7〕
- 31/047 ・・２またはそれ以上のヒドロキシ基を持つもの，例．ソルビトール〔7〕
- 31/05 ・・フェノール〔2〕
- 31/055 ・・・・芳香族環がハロゲンで置換されているもの〔2〕
- 31/06 ・・・・芳香族環がニトロ基で置換されているもの〔2〕
- 31/065 ・・ジフェニル置換非環式アルコール〔2〕
- 31/07 ・・レチノール化合物，例．ビタミン A（レチノイン酸 A 6 1 K 3 1／2 0 3）〔2，7〕
- 31/075 ・エーテルまたはアセタール〔2〕
- 31/08 ・・非環式のもの，例．パラホルムアルデヒド〔2〕
- 31/085 ・・芳香族環の核炭素にエーテル結合を有するもの〔2〕
- 31/09 ・・・・その結合が２個以上のもの〔2〕
- 31/095 ・硫黄，セレンまたはテルル化合物，例．チオール〔2〕
- 31/10 ・・スルフィド；スルフォキシド；スルホン〔2〕
- 31/105 ・・過硫化物（チウラムジスルフィド A 6 1 K 3 1／1 4 5，チオスルホン酸 A 6 1 K 3 1／1 8 5）〔2〕
- 31/11 ・アルデヒド〔2〕
- 31/115 ・・ホルムアルデヒド〔2〕
- 31/12 ・ケトン〔2〕
- 31/121 ・・非環式のもの〔7〕
- 31/122 ・・環に直接結合した酸素を持つもの，例．キノン，ビタミン K₁，アントラリン〔7〕
- 31/125 ・・・・樟脳；その核置換誘導体〔2〕
- 31/13 ・アミン，例．アマンタジン（A 6 1 K 3 1／0 4 が優先）〔2〕
- 31/131 ・・非環式のもの〔7〕
- 31/132 ・・２以上のアミノ基を有するもの，例．スペルミジン，プトレシン〔7〕
- 31/133 ・・水酸基を有するもの，例．スフィンゴ

- シン [7]
- 31/135 ・芳香族環を持つもの, 例. メタドン [2, 7]
- 31/136 ・芳香族環に直接結合したアミノ基を持つもの, 例. ベンゼンアミン [7]
- 31/137 ・アリールアルキルアミン, 例. アンフェタミン, エピネフリン, サルブタモール, エフェドリン [7]
- 31/138 ・アリールオキシアルキルアミン, 例. プロプラノロール, タモキシフェン, フェノキシベンズアミン (アテノロール A 6 1 K 3 1 / 1 6 5 ; ピンドロール A 6 1 K 3 1 / 4 0 4 ; チモロール A 6 1 K 3 1 / 5 3 7 7) [7]
- 31/14 ・第4級アンモニウム化合物, 例. エドロフオニウム, コリン (ベタイン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5) [2]
- 31/145 ・硫黄原子を持つもの, 例. チウラム ($>N-C(=S)-S-C(=S)-N<$ または $>N-C(=S)-S-S-C(=S)-N<$); スルフィニルアミン ($-N=SO$); スルフォニルアミン ($-N=SO_2$) (イソチオ尿素 A 6 1 K 3 1 / 1 5 5) [2, 7]
- 31/15 ・オキシム ($>C=N-O-$); ヒドラジン ($>N-N<$); ヒドラゾン ($>N-N=$) [2]
- 31/155 ・アミジン ($-N=\overset{I}{C}-N<$), 例. グアニジン ($H_2N-C(=NH)-NH_2$), イソ尿素 ($N=C(OH)-NH_2$), イソチオ尿素 ($-N=C(SH)-NH_2$) [2]
- 31/16 ・アミド, 例. ヒドロキサム酸 [2]
- 31/164 ・アミノアルコールとカルボン酸とのアミド, 例. セラミド [7]
- 31/165 ・芳香族環を持つもの, 例. コルヒチン, アテノロール, プロガバイド [2]
- 31/166 ・カルボキシアミド基の炭素が芳香族環に直接結合したもの, 例. プロカインアミド, プロカルバジン, メトクロプラミド, ラベタロール [7]
- 31/167 ・カルボキシアミド基の窒素が芳香族環に直接結合したもの, 例. リドカイン, パラセタモール [7]
- 31/17 ・基 $>N-C(O)-N<$ または $>N-C(S)-N<$ を持つもの, 例. 尿素, チオ尿素, カルムスチン (イソ尿素, イソチオ尿素 A 6 1 K 3 1 / 1 5 5 ; スルフォニル尿素 A 6 1 K 3 1 / 6 4) [2, 7]
- 31/175 ・基 $>N-C(O)-\overset{I}{N}-N<$, $>N-C(O)-$

$-N=N-$ または

$>N-C(O)-\overset{I}{N}-N=$ を持つもの, 例. カルバジド, すなわちカルボノヒドラジド, カルバゾン, セミカルバジド, セミカルバゾン; それらのチオ類似体 [2, 7]

- 31/18 ・スルフォンアミド (パラ-N-ベンゼン-スルフォニル-N-基を含有する化合物 A 6 1 K 3 1 / 6 3) [2]
- 31/185 ・酸; その無水物, ハロゲン化物または塩, 例. 硫黄の酸, イミド酸, ヒドラゾン酸, ヒドロキシム酸 (ヒドロキサム酸 A 6 1 K 3 1 / 1 6 ; 過酸素酸 A 6 1 K 3 1 / 3 2 7) [2, 7]
- 31/19 ・カルボン酸, 例. バルプロ酸 (サリチル酸 A 6 1 K 3 1 / 6 0) [2, 7]
- 31/191 ・2 個以上のヒドロキシ基を持つ非環式酸, 例. グルコン酸 [7]
- 31/192 ・芳香族基を持つもの, 例. スリンダク, 2-アリール-プロピオン酸, エタクリン酸 [7]
- 31/194 ・2 個以上のカルボキシル基を持つもの, 例. コハク酸, マレイン酸, フタル酸 [7]
- 31/195 ・アミノ基を持つもの [2, 7]

注

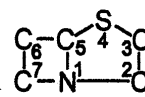
このグループにおいては, “アミノ基” は “アシル・アミノ基” も包含する。[7]

- 31/196 ・アミノ基が環に直接結合しているもの, 例. アントラニル酸, メフェナム酸, ジクロフェナツク, クロラムブシル [7]
- 31/197 ・アミノ基とカルボキシル基とが同一の非環式の炭素鎖に結合しているもの, 例. γ -アミノ酪酸 [GABA], β -アラニン, ϵ -アミノカプロン酸またはパントテン酸 (カルニチン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5) [2 0 0 6. 0 1]
- 31/198 ・ α -アミノ酸, 例. アラニンまたはエデト酸 [EDTA] (ベタイン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5 ; プロリン A 6 1 K 3 1 / 4 0 1 ; トリプトファン A 6 1 K 3 1 / 4 0 5 ; ヒスチジン A 6 1 K 3 1 / 4 1 7 2 ; 個々のアミノ酸まで分解されていないペプチド A 6 1 K 3 8 / 0 0) [2 0 0 6. 0 1]
- 31/20 ・7 個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つもの, 例. ステアリン酸, パルミチン酸, アラキドン酸 [2]
- 31/201 ・1 個又は 2 個の二重結合を持つもの, 例. オレイン酸, リノール酸 [7]
- 31/202 ・3 個以上の二重結合を持つもの,

	例. リノレン酸 (エイコサノイド, 例. ロイコトリエン A 6 1 K 3 1 / 5 5 7) [7]	31/285	・・砒素化合物 [2]
31/203	・・・レチノイン酸 [7]	31/29	・・アンチモンまたはビスマス化合物 [2]
31/205	・・有機酸のアミン付加塩; 分子内第4級アンモニウム塩, 例. ベタイン, カルニチン [2]	31/295	・・鉄族金属化合物 [2]
		31/30	・・銅化合物 [2]
31/21	・エステル, 例. ニトログリセリン, セレノシアネート [2]	31/305	・・水銀化合物 [2]
31/215	・・カルボン酸のエステル [2]	31/31	・・・窒素を含有するもの [2]
31/216	・・・芳香族環を持つ酸のエステル, 例. ベナクチジン, クロフィブレート [7]	31/315	・・亜鉛化合物 [2]
31/22	・・・非環式酸のエステル, 例. プラバスタチン [2]	31/32	・・錫化合物 [2]
31/221	・・・・アミノ基を持つ化合物とのもの, 例. アセチルコリン, アセチルカルニチン [7]	31/325	・カルバミン酸; チオカルバミン酸; それらの無水物または塩 (チウラム A 6 1 K 3 1 / 1 4 5) [2]
31/222	・・・・芳香族基を持つ化合物とのもの, 例. ジピペフリン, イボパミン [7]	31/327	・パーオキシ化合物, 例. ヒドロパーオキサイド, パーオキサイド, 過酸 [7]
31/223	・・・・α-アミノ酸のエステル [7]	31/33	・複素環式化合物 [2]
31/225	・・・・ポリカルボン酸 [2]	31/335	・・環異種原子として酸素のみを持つもの, 例. フンギクロミン [2]
31/23	・・・・7個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つ酸のエステル [2]	31/336	・・・3員環を持つもの, 例. オキシラン, フマギリン [7]
31/231	・・・・・1個又は2個の二重結合を持つもの [7]	31/337	・・・4員環を持つもの, 例. タキソール [7]
31/232	・・・・・3個以上の二重結合を持つもの, 例. エトレチナート [7]	31/34	・・・環異種原子として1個の酸素のみを有する5員環を持つもの, 例. イソソルビド [2]
31/235	・・・カルボキシル基に結合する芳香環をもつもの [2]	31/341	・・・・他の環と縮合していないもの, 例. ラニチジン, フロセミド, プフェトロール, ムスカリン [7]
31/24	・・・・アミノまたはニトロ基をもつもの [2]	31/343	・・・・炭素環と縮合したもの, 例. クマラン, プフラロール, ペフノロール, クロベンフロール, アミオオダロン [7]
31/245	・・・・・アミノ安息香酸型のもの, 例. プロカイン, ノボカイン (サリチル酸エステルを含有する製剤 A 6 1 K 3 1 / 6 0) [2]	31/345	・・・・ニトロフラン (ニトロフラニトイン A 6 1 K 3 1 / 4 1 7 8) [2, 7]
31/25	・・・ポリオキシアルキル化アルコールとのもの (ポリエチレングリコールのエステル) [2]	31/35	・・・異種原子として1個の酸素のみを有する6員環を持つもの [2]
31/255	・・硫黄の酸素酸またはその硫黄類似体のエステル [2]	31/351	・・・・他の環と縮合していないもの [7]
31/26	・・シアナートまたはイソシアナートエステル; チオシアナートまたはイソチオシアナートエステル [2, 7]	31/352	・・・・炭素環と縮合したもの, 例. カンナビノール, メタンテリン [7]
31/265	・・炭酸, チオ炭酸またはチオカルボン酸のエステル, 例. チオ酢酸, キサントゲン酸, トリチオ炭酸 [2]	31/353	・・・・・3, 4-ジヒドロベンゾピラン, 例. クロマン, カテキン (トコフェロール A 6 1 K 3 1 / 3 5 5) [7]
31/27	・・カルバミン酸またはチオカルバミン酸のエステル, 例. メプロバメート, カルバコール, ネオスチグミン [2]	31/355	・・・・・トコフェロール, 例. ビタミン E [2]
31/275	・ニトリル; イソニトリル [2]	31/357	・・・2個以上の酸素原子が同一環中に有するもの, 例. クラウンエーテル, グアナドレル [7]
31/277	・・環式基を持つもの, 例. ベラパミル [7]	31/36	・・・・メチレンジオキシフェニル基を有する化合物, 例. セサミン [2]
31/28	・重金属を含有する化合物 [2]	31/365	・・・ラクトン [2]
31/282	・・白金化合物 [7]	31/366	・・・・6員環を持つもの, 例. δ-ラクトン [7]
		31/37	・・・・・クマリン, 例. プソラレン [2]
		31/375	・・・・アスコルビン酸, すなわちビタミン C; その塩 [2]
		31/38	・・環異種原子として硫黄をもつもの [2]

A 6 1 K

- 31/381 ・・・・5員環を持つもの：[7]
- 31/382 ・・・・6員環を持つもの，例．チオキサンテン（チオチキセンA 6 1 K 3 1 / 4 9 6）[7]
- 31/385 ・・・・同一環中に2個以上の硫黄原子をもつもの[2]
- 31/39 ・・・・同一環中に酸素をもつもの[2]
- 31/395 ・・・・環異種原子として窒素を持つもの，例．グアネチジンまたはリファマイシン[2 0 0 6. 0 1]
- 31/396 ・・・・3員環を持つもの，例．アジリジン[7]
- 31/397 ・・・・4員環を持つもの，例．アゼチジン[7]
- 31/40 ・・・・環異種原子として1個の窒素をもつ5員環を有するもの，例．スルピリド，スクシンイミド，トルメチン，プフロメシル[2]
- 31/401 ・・・・プロリン；その誘導体，例．カプトプリル[7]
- 31/4015 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの，例．ピラセタム，エトスクシミド[7]
- 31/402 ・・・・1-アリアル置換されたもの，例．ピレタニド[7]
- 31/4025 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含有する化合物，例．クロマカリム[7]
- 31/403 ・・・・炭素環と縮合したもの，例．カルバゾール[7]
- 31/4035 ・・・・イソインドール，例．フタルイミド[7]
- 31/404 ・・・・インドール，例．ピンドロール[7]
- 31/4045 ・・・・インドール-アルキルアミン及びそのアミド，例．セロトニン，メラトニン[7]
- 31/405 ・・・・インドールアルカンカルボン酸；その誘導体，例．トリプトファン，インドメタシン[2]
- 31/407 ・・・・他の複素環系と縮合したもの，例．ケトロラック，フィソスチグミン[7]
- 31/409 ・・・・4個の当該環を持つもの，例．ポルフィリン誘導体，ビリルビン，ビリベルデン（ヘミン，ヘマチンA 6 1 K 3 1 / 5 5 5）[7]
- 31/41 ・・・・2個以上の環異種原子を有し，そのうち少なくとも1個は窒素である5員環をもつもの，例．テトラゾール[2]
- 31/415 ・・・・1，2-ジアゾール[2，7]
- 31/4152 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの，例．アンチピリン，フェニルブタゾン，スルフィンピラゾン[7]
- 31/4155 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含むもの[7]
- 31/416 ・・・・炭素環と縮合したもの，例．インダゾール[7]
- 31/4162 ・・・・他の複素環系と縮合したもの[7]
- 31/4164 ・・・・1，3-ジアゾール，例．イミダゾール[7]
- 31/4166 ・・・・直接結合したオキソ基を持つもの，例．フェニトイン[7]
- 31/4168 ・・・・2位に結合した窒素を持つもの，例：クロニジン[7]
- 31/417 ・・・・イミダゾール-アルキルアミン，例．ヒスタミン，フェントラミン[7]
- 31/4172 ・・・・イミダゾール-アルカンカルボン酸，例．ヒスチジン[7]
- 31/4174 ・・・・アリアルアルキルイミダゾール，例．オキシメタゾリン，ナファゾリン，ミコナゾール[7]
- 31/4178 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含有するもの，例．ピロカルピン，ニトロフランチン[7]
- 31/4184 ・・・・炭素環と縮合したもの，例．ベンズイミダゾール[7]
- 31/4188 ・・・・他の複素環系と縮合したもの，例．ビオチン，ソルビニル[7]
- 31/4192 ・・・・1，2，3-トリアゾール[7]
- 31/4196 ・・・・1，2，4-トリアゾール[7]
- 31/42 ・・・・オキサゾール[2，7]
- 31/421 ・・・・1，3-オキサゾール，例．ペモリン，トリメタジオン[7]
- 31/422 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含むもの[7]
- 31/423 ・・・・炭素環と縮合したもの[7]
- 31/424 ・・・・他の複素環系と縮合したもの，例．クラブラン酸[7]
- 31/4245 ・・・・オキサジアゾール[7]
- 31/425 ・・・・チアゾール[2，7]
- 31/426 ・・・・1，3-チアゾール[7]
- 31/427 ・・・・非縮合チアゾールを持ち，さらに複素環を含むもの[7]
- 31/428 ・・・・炭素環と縮合したもの[7]
- 31/429 ・・・・他の複素環系と縮合したもの[7]
- 31/43 ・・・・4-チア-1-アザビシクロ[3，2，0]ヘプタン環系を含有する化合物，すなわち，式
- 31/431 ・・・・さらに複素環系を含有するもの，例．チカルシリン，アズロシリン，オキサシリン[7]
- 31/433 ・・・・チアジアゾール[7]



化合物，すなわち，式
 の環系を含有する化合物，例．ペニシリン誘導体，ペネム誘導体[2，6]

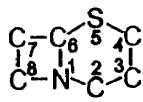
31/431 ・・・・さらに複素環系を含有するもの，例．チカルシリン，アズロシリン，オキサシリン[7]

31/433 ・・・・チアジアゾール[7]

- 31/435 ・・・・環異種原子として1個の窒素のみを有する6員環を持つもの、例. 炭素環系と縮合したもの(キノリンA 6 1 K 3 1 / 4 7) [2]
- 31/4353 ・・・・複素環とオルトまたはペリ縮合したもの [7]
- 31/4355 ・・・・環異種原子として酸素を持つ5員環を含む複素環系と縮合したもの [7]
- 31/436 ・・・・環異種原子として酸素を持つ6員環を含む複素環系と縮合したもの、例. ラパマイシン [7]
- 31/4365 ・・・・環異種原子として硫黄を持つ複素環系と縮合したもの、例. チクロジピン [7]
- 31/437 ・・・・環異種原子として窒素を持つ5員環を含む複素環系と縮合したもの、例. インドリジン, β -カルボリン [7]
- 31/4375 ・・・・環異種原子として窒素を持つ6員環を含む複素環系と縮合したもの、例. キノリジン, ナフチリジン, ビンカミン [7]
- 31/438 ・・・・環が炭素環系又は複素環系とスピロ縮合しているもの [7]
- 31/439 ・・・・環が架橋環系の部分を構成しているもの、例. キヌクリジン (8-アザ-ビシクロ [3. 2. 1] オクタンA 6 1 K 3 1 / 4 6) [7]
- 31/44 ・・・・非縮合ピリジン; その水素添加誘導体 [2, 7]
- 31/4402 ・・・・2位のみ置換されたもの、例. フェニラミン, ビサコジル [7]
- 31/4406 ・・・・3位のみ置換されたもの、例. ジメルシン (ニコチン酸A 6 1 K 3 1 / 4 5 5) [7]
- 31/4409 ・・・・4位のみ置換されたもの、例. イソニアジド, イプロニアジド [7]
- 31/4412 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの [7]
- 31/4415 ・・・・ピリドキシン, すなわちビタミンB₆ (リン酸ピリドキサルA 6 1 K 3 1 / 6 7 5) [7]
- 31/4418 ・・・・複素環に直接結合した炭素環を持つもの、例. シプロヘプタジン [7]
- 31/4422 ・・・・1, 4-ジヒドロピリジン, 例. ニフェジピン, ニカルジピン [7]
- 31/4425 ・・・・ピリジニウム誘導体, 例. プラリドキシム, ピリドスチグミン [7]
- 31/4427 ・・・・さらに複素環系を含有するもの [7]
- 31/443 ・・・・環異種原子として酸素を有する5員環を含むもの [7]
- 31/4433 ・・・・環異種原子として酸素を有する6員環を含むもの [7]
- 31/4436 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの [7]
- 31/4439 ・・・・環異種原子として窒素を有する5員環を含むもの、例. オメブラゾール (ニコチンA 6 1 K 3 1 / 4 6 5) [7]
- 31/444 ・・・・環異種原子として窒素を有する6員環を含むもの、例. アムリノン [7]
- 31/445 ・・・・非縮合ピペリジン, 例. ピペロカイン [2, 7]
- 31/4453 ・・・・1位のみ置換されたもの、例. プロピポカイン, ジペロドン [7]
- 31/4458 ・・・・2位のみ置換されたもの、例. メチルフェニデート [7]
- 31/4462 ・・・・3位のみ置換されたもの [7]
- 31/4465 ・・・・4位のみ置換されたもの [7]
- 31/4468 ・・・・4位に直接結合した窒素を持つもの、例. クレボプリド, フェンタニル [7]
- 31/45 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの、例. シクロヘキシイミド (グルテチミドA 6 1 K 3 1 / 4 5 1) [2, 7]
- 31/451 ・・・・複素環に直接結合した炭素環基を持つもの、例. グルテチミド, メペリジン, ロペラミド, フェンシクリジン, ピミノジン [7]
- 31/4515 ・・・・1位にブチロフェノン基を持つもの、例. ハロペリドール (ピパンペロンA 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5) [7]
- 31/452 ・・・・ピペリジニウム誘導体 (パンクロニウムA 6 1 K 3 1 / 5 8) [7]
- 31/4523 ・・・・さらに複素環系を含有するもの [7]
- 31/4525 ・・・・環異種原子として酸素を有する5員環を含むもの [7]
- 31/453 ・・・・環異種原子として酸素を有する6員環を含むもの [7]
- 31/4535 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの、例. ピゾチフェン [7]
- 31/454 ・・・・環異種原子として窒素を有する5員環を含むもの、例. ピモジド, ドンペリドン [7]
- 31/4545 ・・・・環異種原子として窒素を有する6員環を含むもの、例. ピパンペロン, アナバシン [7]
- 31/455 ・・・・ニコチン酸, 例. ナイアシン; その誘導体, 例. エステル, アミド [2]
- 31/46 ・・・・8-アザビシクロ [3. 2. 1] オクタン; その誘導体, 例. アトロピン, コカイン [2]
- 31/465 ・・・・ニコチン; その誘導体 [2]
- 31/47 ・・・・キノリン; イソキノリン [2]

A 6 1 K

- 31/4704 ・ ・ ・ ・ 2-キノリノン, 例. カルボスチリル [7]
- 31/4706 ・ ・ ・ ・ 4-アミノキノリン; 8-アミノキノリン, 例. クロロキン, プリマキン [7]
- 31/4709 ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含むキノリン [7]
- 31/472 ・ ・ ・ ・ 非縮合イソキノリン, 例. パパベリン [7]
- 31/4725 ・ ・ ・ ・ さらに複素環を含むもの [7]
- 31/473 ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. アクリジン, フェナントリジン [7]
- 31/4738 ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/4741 ・ ・ ・ ・ 環異種原子として酸素を持つ環系で縮合したもの, 例. ツボクラリン誘導体, ノスカピン, ビククリン [7]
- 31/4743 ・ ・ ・ ・ 環異種原子として硫黄を持つ環系で縮合したもの [7]
- 31/4745 ・ ・ ・ ・ 環異種原子として窒素を持つ環系で縮合したもの, 例. フェナントロリン (ヨヒンビン誘導体, ビンブラスチン A 6 1 K 3 1 / 4 7 5 ; エルゴリン誘導体 A 6 1 K 3 1 / 4 8) [7]
- 31/4747 ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの [7]
- 31/4748 ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの (ストリキニン A 6 1 K 3 1 / 4 7 5 ; モルフィナン誘導体 A 6 1 K 3 1 / 4 8 5) [7]
- 31/475 ・ ・ ・ ・ インドール環を持つもの, 例. ヨヒンビン, レセルピン, ストリキニン, ビンブラスチン (ビンカミン A 6 1 K 3 1 / 4 3 7 5) [2, 7]
- 31/48 ・ ・ ・ ・ エルゴリン誘導体, 例. リセルグ酸, エルゴタミン [2, 7]
- 31/485 ・ ・ ・ ・ モルフィナン誘導体, 例. モルフィン, コデイン [2, 7]
- 31/49 ・ ・ ・ ・ シンコナン誘導体, 例. キニン [2, 7]
- 31/495 ・ ・ ・ 環異種原子として2個の窒素のみを有する6員環を持つもの, 例. ピペラジン (A 6 1 K 3 1 / 4 8 が優先) [2]
- 31/496 ・ ・ ・ 非縮合ピペラジンをもち, さらに複素環を含む化合物, 例. リファンピン, チオチキセン, スバルフロキサシン [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/4965 ・ ・ ・ 非縮合ピラジン [7]
- 31/497 ・ ・ ・ ・ さらに複素環を含む非縮合ピラジン [7]
- 31/498 ・ ・ ・ 炭素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン, 例. キノキサリン, フェナジン [7]
- 31/4985 ・ ・ ・ 複素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン [7]
- 31/499 ・ ・ ・ スピロ縮合したピラジンまたはピペラジン [7]
- 31/4995 ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するピラジンまたはピペラジン [7]
- 31/50 ・ ・ ・ ・ ピリダジン; 水素添加ピリダジン [2, 7]
- 31/501 ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含むもの [7]
- 31/502 ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. シンノリン, フタラジン [7]
- 31/5025 ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/503 ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの [7]
- 31/504 ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/505 ・ ・ ・ ・ ピリミジン; 水素添加ピリミジン, 例. トリメトブリム [2, 7]
- 31/506 ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含有するもの [7]
- 31/51 ・ ・ ・ ・ チアミン, 例. ビタミン B₁ [2]
- 31/513 ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. シトシン [7]
- 31/515 ・ ・ ・ ・ バルビツール酸; その誘導体, 例. ペントバルビタールナトリウム [2]
- 31/517 ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. キナゾリン, ペリミジン [7]
- 31/519 ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソまたはペリ縮合したもの [7]
- 31/52 ・ ・ ・ ・ プリン, 例. アデニン [2, 7]
- 31/522 ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. ヒポキサンチン, グアニン, アシクロビル [7]
- 31/525 ・ ・ ・ ・ イソアロキサジン, 例. リボフラビン, ビタミン B₂ [2]
- 31/527 ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの [7]
- 31/529 ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/53 ・ ・ ・ 環異種原子として3個の窒素のみを有する6員環を持つもの, 例. クロラザニル, メラミン (メラルソブロー A 6 1 K 3 1 / 5 5 5) [2]
- 31/535 ・ ・ ・ 環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の酸素を有する6員環を持つもの, 例. 1, 2-オキサジン [2]
- 31/5355 ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含有するオキサジン [7]
- 31/536 ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合し

- たもの [7]
- 31/5365 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの [7]
- 31/537 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/5375 ・・・・1, 4-オキサジン, 例. モルホリン [7]
- 31/5377 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有するもの, 例. チモロール [7]
- 31/538 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したものの [7]
- 31/5383 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの [7]
- 31/5386 ・・・・スピロ縮合又は架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/539 ・・・・同一環に2個以上の酸素原子を持つもの, 例. ジオキサジン [7]
- 31/5395 ・・・・同一環に2個以上の窒素原子を持つもの [7]
- 31/54 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の硫黄を有する6員環を持つもの, 例. スルチアム [2]
- 31/541 ・・・・非縮合チアジンをもち, さらに複素環を含有する化合物 [7]
- 31/5415 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したものの, 例. フェノチアジン, クロルプロマジン, ピロキシカム [7]
- 31/542 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの [7]
- 31/545 ・・・・5-チア-1-アザビシクロ[4.2.0]オクタン環系を含有する化合物
- 
- 例. セファロスポリン, セファクロル, セファレキシム [2, 6]
- 31/546 ・・・・さらに複素環を含むもの, 例. セファロチン [7]
- 31/547 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/548 ・・・・同一環に2個以上の硫黄原子を持つもの [7]
- 31/549 ・・・・同一環に2個以上の窒素原子を持つもの [7]
- 31/55 ・・・・7員環を持つもの, 例. アゼラスチン, ペンチレンテトラゾール [2]
- 31/551 ・・・・環異種原子として2個の窒素原子を持つもの, 例. クロザピン, ジラゼブ [7]
- 31/5513 ・・・・1, 4-ベンゾジアゼピン, 例. ジアセパム [7]
- 31/5517 ・・・・環異種原子として窒素を持つ5員環と縮合したものの, 例. イミダゾベンゾジアゼピン, トリアゾラム [7]
- 31/553 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の酸素を持つもの, 例. ロキサピン, スタウロスポリン [7]
- 31/554 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の硫黄を持つもの, 例. クロチアピン, ジルチアゼム [7]
- 31/555 ・・・・重金属を含有するもの, 例. ヘミン, ヘマチン, メラルソプロール [2]
- 31/557 ・エイコサノイド, 例. ロイコトリエン [3, 7]
- 31/5575 ・・・・シクロペンタン環をもつもの, 例. プロスタグランジンE₂, プロスタグランジンF_{2α} [7]
- 31/5578 ・・・・ペンタレン環を持つもの, 例. カルバサイクリン, イロブロスト [7]
- 31/558 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む複素環をもつもの, 例. トロンボキサン [7]
- 31/5585 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む5員環を持つもの, 例. プロスタサイクリン [7]
- 31/559 ・・・・酸素以外の環異種原子を含む複素環を持つもの [7]
- 31/56 ・シクロペンタ[a]ヒドロフェナントレン環系を含む化合物, 例. ステロイドまたはそれから誘導される化合物 [4, 7]

注

“ステロイド”という用語に含まれるのは何かについて説明した, サブクラスC 0 7 Jのタイトル後の注(1)に注意すること。[7]

- 31/565 ・・・・1 7 β位が炭素原子によって置換されていないもの, 例. エストラン, エストラジオール [2]
- 31/566 ・・・・1 7 β位にオキシ基を持つもの, 例. エストロン [7]
- 31/567 ・・・・1 7 α位が置換されたもの, 例. メストラノール, ノルエタンドロロン [7]
- 31/568 ・・・・1 0, 1 3位が少なくとも1個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. アンドロスタン, 例. テストステロン [7]
- 31/5685 ・・・・1 7 β位にオキシ基を持つもの, 例. アンドロステロン [7]
- 31/569 ・・・・1 7 α位が置換されたもの, 例. エチステロン [7]
- 31/57 ・・・・1 7 β位が2個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. プレグナン, プロゲステロン [2 0 0 6. 0 1]
- 31/573 ・・・・2 1位が置換されたもの, 例. コルチゾン, デキサメタゾン, プレドニゾン, アルドステロン [2 0 0 6. 0 1]
- 31/575 ・・・・1 7 β位が少なくとも3個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの,

- 例. コラン, コレスタン, エルゴステロール, シトステロール [2]
- 31/58 ・ ・ 複素環を含有するもの, 例. ダナゾール, スタノゾロール, バンクロニウム, シギトゲニン (ジギトキシシン A 6 1 K 3 1 / 7 0 4) [2 0 0 6. 0 1]
- 31/585 ・ ・ ・ ラクトン環を含有するもの, 例. オキサンドロン, プファリン [2]
- 31/59 ・ 9, 1 0 -セコシクロペンタ [a] ヒドロフェナントレン環系を含有する化合物 [2]
- 31/592 ・ ・ 9, 1 0 -セコエルゴスタン誘導体, 例. エルゴカルシフェロール, ビタミン D₂ [7]
- 31/593 ・ ・ 9, 1 0 -セココレスタン誘導体, 例. コレカルシフェロール, すなわちビタミン D₃ [7]
- 31/60 ・ サリチル酸; その誘導体 [2]
- 31/603 ・ ・ さらに芳香族環を持つもの, 例. シフルニサル [7]
- 31/606 ・ ・ アミノ基を持つもの [7]
- 31/609 ・ ・ アミド, 例. サリチルアミド [7]
- 31/612 ・ ・ 2 位にエステル化された水酸基を持つもの, 例. サリチル硫酸 (フォスフォサル A 6 1 K 3 1 / 6 6 1) [7]
- 31/616 ・ ・ ・ カルボン酸によるもの, 例. アセチルサリチル酸 [7]
- 31/618 ・ ・ 1 位にエステル化されたカルボキシル基を持つもの, 例. サルサラート [7]
- 31/621 ・ ・ ・ 2 位にもエステル化された水酸基を持つもの, 例. ベノリラート [7]
- 31/625 ・ ・ 複素環式置換基を持つもの, 例. 4 -サルチルオイルモルフォリン (スルファサラジン A 6 1 K 3 1 / 6 3 5) [2, 7]
- 31/63 ・ パラー N -ベンゼンスルホニル -N -基を含有する化合物, 例. スルファニルアミド, P -ニロトベンゼンスルフォノヒドラジド [2]
- 31/635 ・ ・ 複素環を有するもの, 例. スルファジアジン [2]
- 31/64 ・ スルホニル尿素, 例. グリベンクラミド, トルブタミド, クロルプロパミド [2]
- 31/65 ・ テトラサイクリン [2]
- 31/655 ・ アゾ (-N=N-), ジアゾ (=N₂), アゾキシ (<) N (O) -N (または N (=O) -N <), アジド (-N₃), またはジアゾアミノ (-N=N-N<) 化合物 [2]
- 31/66 ・ リン化合物 [2]
- 31/661 ・ ・ P -C 結合を持たないリン酸またはそのエステル, 例. ホスフォサル, ジクロロボス, マラチオン [7]
- 31/6615 ・ ・ ・ 2 またはそれ以上のエステル化されたリン酸基を持つ化合物, 例. イノシト

- ールトリホスフェート, フィチン酸 [7]
- 31/662 ・ ・ P -C 結合をもつリン酸又はそのエステル, 例. ホスカルネット, トリクロホン [7]
- 31/663 ・ ・ ・ 2 又はそれ以上のリン酸基又はそのエステル基を持つ化合物, 例. クロドロン酸, パミドロン酸 [7]
- 31/664 ・ ・ リン酸のアミド [7]
- 31/665 ・ ・ 環構成異種原子として酸素を持つもの, 例. ホスホマイシン [2]
- 31/67 ・ ・ 環構成異種原子として硫黄をもつもの [2]
- 31/675 ・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つもの, 例. ビリドキサル リン酸塩 [2]
- 31/683 ・ ・ 2 個のヒドロキシ化合物とリン酸とのジエステル, 例. ホスファチジルイノシトール [7]
- 31/685 ・ ・ ・ 一方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. ホスファチシルセリン, レシチン [2, 7]
- 31/688 ・ ・ ・ 双方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. スフィンゴミエリン [7]
- 31/69 ・ ほう素化合物 [2]
- 31/695 ・ けい素化合物 [2]
- 31/70 ・ 炭水化物; 糖; その誘導体 (ソルビトール A 6 1 K 3 1 / 0 4 7) [2, 7]

注

このグループにおいて使用される表現は, サブクラス C 0 7 H のタイトルに続く注 (3) に指示される意味で用いる。 [7]

- 31/7004 ・ ・ 炭素, 水素, 酸素原子のみを持つ単糖 [7]
- 31/7008 ・ ・ 糖類基に直接結合する 1 個のアミノ基を持つ化合物, 例. D -ガラクトサミン, ラニムスチン [7]
- 31/7012 ・ ・ 糖類基に直接または炭素鎖を介して結合した, 遊離またはエステル化されたカルボキシル基を持つ化合物, 例. グルクロン酸, ノイラミン酸 (グルコン酸 A 6 1 K 3 1 / 1 9 1, アスコルビン酸 A 6 1 K 3 1 / 3 7 5) [7]
- 31/7016 ・ ・ 二糖類, 例. ラクトース, ラクチュロース (ラクトビオン酸 A 6 1 K 3 1 / 7 0 3 2) [7]
- 31/702 ・ ・ 少糖類, すなわちグリコシド結合により互いに結合した 3 ~ 5 個の糖類基を持つもの [7]
- 31/7024 ・ ・ 糖類のエステル [7]
- 31/7028 ・ ・ グリコシド結合により, 糖類でない化合物と結合した糖類基を持つ化合物 [7]
- 31/7032 ・ ・ ・ ポリオール, すなわち, 2 個以上の遊離またはエステル化された水酸基 (グリコシド結合に含まれる水酸基を含む) をもつ化合物に結合したもの, 例. モノ

- グルコシル - ジアシルグリセリド, ラクトビオン酸, ガングリオシド [7]
- 31/7034 ・ ・ ・炭素環と結合したもの, 例. フロリジン [7]
- 31/7036 ・ ・ ・炭素環に直接結合した少なくとも1個のアミノ基を持つもの, 例. ストレプトマイシン, ゲンタマイシン, アミカシン, バリダマイシン, フオルチマイシン [7]
- 31/704 ・ ・ ・縮合炭素環系に結合したもの, 例. センノシド, チオコルチコシド, エスシン, ダウノルビシン, ジギトキシン [7]
- 31/7042 ・ ・ 糖類基と複素環とを持つ化合物 [7]
- 31/7048 ・ ・ ・環構成異種原子として酸素原子を持つもの, 例. ロイコグルコサン, ヘスペリジン, エリスロマイシン, ナイスタチン [7]
- 31/7052 ・ ・ ・環構成異種原子として窒素を持つもの, 例. ヌクレオシド, ヌクレオチド [7]
- 31/7056 ・ ・ ・環構成異種原子として窒素を含む5員環を含むもの [7]
- 31/706 ・ ・ ・環構成異種原子として窒素を含む6員環を含むもの [7]
- 31/7064 ・ ・ ・縮合または非縮合のピリミシンを含むもの [7]
- 31/7068 ・ ・ ・ピリミジン環に直接結合したオキソ基を含むもの, 例. シチジン, シチジル酸 [7]
- 31/7072 ・ ・ ・ピリミジン環に直接結合した2個のオキソ基を持つもの, 例. ウリジン, ウリジル酸, チミジン, ジドブジン [7]
- 31/7076 ・ ・ ・プリンを含むもの, 例. アデノシン, アデニル酸 [7]
- 31/708 ・ ・ ・プリン環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. グアノシン, グアニル酸 [7]
- 31/7084 ・ ・ 2個のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物, 例. ニコチンアミド-アデニンジヌクレオチド, フラビン-アデニンジヌクレオチド [7]
- 31/7088 ・ ・ 3個以上のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物 [7]
- 31/7105 ・ ・ 天然のリボ核酸, すなわちアデニン, グアニン, シトシンまたはウラシルに結合したリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの [7]
- 31/711 ・ ・ 天然のデオキシリボ核酸, すなわちアデニン, グアニン, シトシン又はチミンに結合した2' - デオキシリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの [7]
- 31/7115 ・ ・ 修飾塩基, すなわちアデニン, グアニン, シトシン, ウラシル又はチミン以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
- 31/712 ・ ・ 修飾された糖, すなわちリボースまたは2' - デオキシリボース以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
- 31/7125 ・ ・ 修飾されたヌクレオシド間の結合, すなわち3' - 5' ホスボジエステル結合以外の結合を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
- 31/713 ・ ・ 2本鎖の核酸またはオリゴヌクレオチド [7]
- 31/7135 ・ ・ 重金属を含む化合物 [7]
- 31/714 ・ ・ コバラミン, 例. シアノコバラミン, ビタミンB₁₂ [7]
- 31/715 ・ ・ 多糖類, すなわちグリコシド結合により互いに結合された6個以上の糖類基を持つもの, 及びその誘導体, 例. エーテル, エステル [2]
- 31/716 ・ ・ グルカン [7]
- 31/717 ・ ・ ・セルロース [7]
- 31/718 ・ ・ ・澱粉及び澱粉加水分解物, 例. アミロース, アミロペクチン [7]
- 31/719 ・ ・ ・プルラン [7]
- 31/721 ・ ・ ・デキストラン [7]
- 31/722 ・ ・ ・キチン, キトサン [7]
- 31/723 ・ ・ ・キサンタン [7]
- 31/724 ・ ・ ・シクロデキストリン [7]
- 31/726 ・ ・ グリコサミノグリカン, すなわちムコ多糖 (コンドロイチン硫酸, デルマトン硫酸 A 6 1 K 3 1 / 7 3 7) [7]
- 31/727 ・ ・ ・ヘパリン; ヘパラン [7]
- 31/728 ・ ・ ・ヒアルロン酸 [7]
- 31/729 ・ ・ 寒天; アガロース; アガロペクチン [7]
- 31/731 ・ ・ カラギーナン [7]
- 31/732 ・ ・ ペクチン [7]
- 31/733 ・ ・ フルクトサン, 例. イヌリン [7]
- 31/734 ・ ・ アルギン酸 [7]
- 31/736 ・ ・ グルコマンナンまたはガラクトマンナン, 例. ローカストビーンガム, グアーガム [7]
- 31/737 ・ ・ 硫酸化多糖, 例. コンドロイチン硫酸, デルマトン硫酸 (A 6 1 K 3 1 / 7 2 7 が優先) [7]
- 31/738 ・ ・ 交差結合多糖 [7]
- 31/739 ・ ・ ・リポ多糖 [7]
- 31/74 ・ 合成の重合材料 [2]
- 31/745 ・ ・ 炭化水素の重合体 [2]
- 31/75 ・ ・ エテンの重合体 [2]
- 31/755 ・ ・ ハロゲン含有する重合体 [2]
- 31/76 ・ ・ 塩化ビニルの重合体 [2]
- 31/765 ・ ・ 酸素含有する重合体 [2]

A 6 1 K

- 31/77 ・ ・ ・ オキシランの重合体 [2]
- 31/775 ・ ・ ・ フェノール樹脂 [2]
- 31/78 ・ ・ ・ アクリル酸またはその誘導体の重合体 [2]
- 31/785 ・ ・ 窒素を含有する重合体 [2]
- 31/787 ・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つ複素環を含むもの [7]
- 31/79 ・ ・ ・ ・ ビニルピロリドンの重合体 [2]
- 31/795 ・ ・ 硫黄を含有する重合体 [2]
- 31/80 ・ ・ グループ A 6 1 K 3 1 / 7 5 5 ~ A 6 1 K 3 1 / 7 9 5 に属さないヘテロ原子を含有する重合体 [2]
- 33/00 **無機活性成分を含有する医薬品製剤 [2 0 0 6 . 0 1]**
- 33/02 ・ アンモニア ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/04 ・ 硫黄, セレンまたはテルル, それらの化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/06 ・ アルミニウム, カルシウムまたはマグネシウム ; それらの化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/08 ・ ・ 酸化物 ; 水酸化物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/10 ・ ・ 炭酸塩 ; 重炭酸塩 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/12 ・ ・ けい酸マグネシウム [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/14 ・ アルカリ金属の塩化物 ; アルカリ土類金属の塩化物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/16 ・ ふっ素化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/18 ・ 沃素 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/20 ・ 塩素 ; 塩素を放出する無機化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/22 ・ ほう素化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/24 ・ 重金属 ; その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/241 ・ ・ 鉛 ; その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/242 ・ ・ 金 ; その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/243 ・ ・ 白金 ; その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/244 ・ ・ ランタニド ; その化合物 (生体内での治療または検査に用いる放射性ランタニドを含有する医薬品製剤 A 6 1 K 5 1 / 0 0) [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/245 ・ ・ ビスマス ; その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
- 33/26 ・ ・ 鉄 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/28 ・ ・ 水銀 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/30 ・ ・ 亜鉛 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/32 ・ ・ マンガン ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/34 ・ ・ 銅 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/36 ・ ・ ひ素 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/38 ・ ・ 銀 ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/40 ・ 過酸化物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/42 ・ りん ; その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 33/44 ・ 炭素, 例. 木炭, カーボンブラック [2 0 0 6 . 0 1]

35/00 構造未知の物質またはその反応生成物を含有する医薬品製剤 [2]

注

(1) このグループでは, 各活性成分または物質について分類する。各活性成分または物質は, 最後の適切な箇所に分類される。[2 0 1 5 . 0 1]

(2) このグループに分類するとき, クロマトグラフィーに関する一般分野の主題事項が関係している限り, グループ B 0 1 D 1 5 / 0 8 にも分類する。[8]

- 35/02 ・ 無生物体からのもの (炭素 A 6 1 K 3 3 / 4 4) [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/04 ・ ・ タール ; ビチューメン ; 鉱油 ; ビチューミノスルホン酸アンモニウム [2]
- 35/06 ・ ・ ・ 鉱油, 例. パラフィン油または芳香族炭化水素に基づく芳香族油 [2]
- 35/08 ・ ・ 鉱泉 ; 海水 [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/10 ・ ・ 泥炭 ; 琥珀 ; 泥炭塊 ; 腐植土 [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/12 ・ 哺乳動物からの物質 ; 特定されていない組織または細胞からなる組成物 ; 非胚性幹細胞からなる組成物 ; 遺伝子的に修飾された細胞 (ワクチンまたは抗原または抗体を含有する医薬品製剤 A 6 1 K 3 9 / 0 0) [2 0 1 5 . 0 1]

注

細胞が特徴づけられている場合, 対応する組織または由来する組織を包含するグループに分類される。[2 0 1 5 . 0 1]

- 35/13 ・ ・ 由来する組織を問わない腫瘍細胞 (腫瘍ワクチン A 6 1 K 3 9 / 0 0) [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/14 ・ ・ 血液 ; 人工血液 (パーフルオロカーボン A 6 1 K 3 1 / 0 2 ; 臍帯血 A 6 1 K 3 5 / 5 1 ; ヘモグロビン A 6 1 K 3 8 / 4 2) [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/15 ・ ・ ・ 骨髄性細胞, 例. 顆粒球, 好塩基球, 好酸球, 好中球, 白血球, 単球, マクロファージまたはマスト細胞 ; 骨髄前駆細胞 ; 抗原提示細胞, 例. 樹状細胞 (治療のための抗体またはそのフラグメントと血液由来細胞の組み合わせ A 6 1 K 3 9 / 0 0 ; 細胞免疫療法 A 6 1 K 4 0 / 0 0) [2 0 2 5 . 0 1]
- 35/16 ・ ・ ・ 血漿 ; 血清 (臍帯血 A 6 1 K 3 5 / 5 1) [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/17 ・ ・ ・ リンパ球 ; B 細胞 ; T 細胞 ; ナチュラルキラー細胞 ; インターフェロン活性化またはサイトカイン活性化リンパ球 (細胞免疫療法 A 6 1 K 4 0 / 0 0) [2 0 2 5 . 0 1]
- 35/18 ・ ・ ・ 赤血球 (ヘモグロビン A 6 1 K 3 8 / 4 2) [2, 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/19 ・ ・ ・ 血小板 ; 巨核球 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/20 ・ ・ 乳 ; ホエイ ; 初乳 [2]

35/22	・尿；尿路，例．腎臓または膀胱；糸球体内メサンギウム細胞；腎間葉細胞；副腎 [2, 2015. 01]	35/545	・胚性幹細胞；多能性幹細胞；人工多能性幹細胞，すなわち，iPS細胞；特徴づけられていない幹細胞 [2015. 01]
35/24	・粘液；粘液腺；滑液のう；滑液；関節液；腺分泌；脊髄液（唾液A61K35/38） [2, 2015. 01]	35/55	・グループA61K35/22～A61K35/545に分類されない腺，例．甲状腺，副甲状腺または松果腺 [3, 2015. 01]
35/26	・リンパ；リンパ節；胸腺；脾臓；脾臓細胞；胸腺細胞 [2, 2015. 01]	35/56	・哺乳動物以外の動物からの物質 [2, 2015. 01]
35/28	・骨髓；造血幹細胞；由来を問わない間葉系幹細胞，例．脂肪由来幹細胞 [2, 2015. 01]	35/57	・鳥類；鳥類からの物質，例．卵，羽毛，卵白，卵黄または鶏内金 [2015. 01]
35/30	・神経；脳；眼；角膜細胞；脳脊髄液；神経幹細胞；神経前駆細胞；グリア細胞；オリゴデンドロサイト細胞；シュワン細胞；星状膠細胞；星状細胞；脈絡集網；脊髄組織 [2, 2015. 01]	35/58	・爬虫類（蛇からの抗原A61K39/38） [2, 2015. 01]
35/32	・骨；骨細胞；骨芽細胞；腱；腱細胞；歯；象牙芽細胞；軟骨；軟骨細胞；滑膜 [2, 2015. 01]	35/583	・蛇；トカゲ，例．カメレオン（蛇毒蛋白質の治療への使用A61K38/00） [2015. 01]
35/33	・線維芽細胞 [2015. 01]	35/586	・ウミガメ；陸ガメ，例．キスイガメ [2015. 01]
35/34	・筋肉；平滑筋細胞；心臓；心筋幹細胞；筋芽細胞；筋細胞；心筋細胞（血管平滑筋A61K35/44） [2, 2015. 01]	35/60	・魚類，例．タツノオトシゴ；魚卵 [2]
35/35	・脂肪組織；脂肪細胞；間質細胞；結合組織（脂肪由来幹細胞A61K35/28；コラーゲンA61K38/39） [2015. 01]	35/612	・甲殻類，例．カニ，ロブスター，エビ，オキアミまたはザリガニ；フジツボ [2015. 01]
35/36	・皮膚；頭髮；爪；皮脂腺；耳垢；表皮；上皮細胞；ケラチノサイト；ランゲルハンス細胞；外胚葉細胞（ランゲルハンス島A61K35/39） [4, 2015. 01]	35/614	・刺胞動物，例．イソギンチャク，サンゴ，サンゴ虫またはクラゲ [2015. 01]
35/37	・消化器官 [3, 2015. 01]	35/616	・棘皮動物，例．ヒトデ，ナマコまたはウニ [2015. 01]
35/38	・胃；腸；杯状細胞；口腔粘膜；唾液 [3, 2015. 01]	35/618	・軟体動物，例．淡水軟体動物，カキ，二枚貝，イカ，タコ，コウイカ，巻き貝またはナメクジ [2015. 01]
35/39	・脾臓；ランゲルハンス島（上皮のランゲルハンス細胞A61K35/36） [3, 2015. 01]	35/62	・ひる；蠕虫，例．条虫綱，サナダムシ，線虫，回虫，ミミズ，回虫類，フィラリア，鉤虫，旋毛虫または条虫類 [2]
35/407	・肝臓；肝細胞 [3, 2015. 01]	35/63	・節足動物（水棲甲殻類A61K35/612） [2015. 01]
35/413	・胆嚢；胆汁 [3, 2015. 01]	35/64	・昆虫，例．蜂，スズメバチまたはノミ [2, 2015. 01]
35/42	・呼吸器官，例．肺，気管支または肺細胞 [2, 2015. 01]	35/644	・みつろう；プロポリス；ロイヤルゼリー；はちみつ [2015. 01]
35/44	・管；血管平滑筋細胞；内皮細胞；内皮前駆細胞 [2, 2015. 01]	35/646	・クモ形類動物，例．クモ，サソリ，大型ダニまたは小型ダニ [2015. 01]
35/48	・生殖器 [2, 2015. 01]	35/648	・多足類，例．ムカデまたはヤスデ [2015. 01]
35/50	・胎盤；胎盤幹細胞；羊水；羊膜；羊膜幹細胞 [2, 2015. 01]	35/65	・両生類，例．ヒキガエル，カエル，サンショウウオまたはイモリ [2015. 01]
35/51	・臍帯；臍帯血；臍帯幹細胞 [2015. 01]	35/655	・グループA61K35/57～A61K35/65に分類されない水棲生物 [2015. 01]
35/52	・精子；前立腺；精液；精巣のライディッシュ細胞 [2, 2015. 01]		
35/54	・卵巣；卵子；未受精卵；胚；胎児細胞；生殖細胞 [2, 2015. 01]		

A 6 1 K

- 35/66 ・微生物または微生物からの物質（菌類、酵母またはカンジダ菌A 6 1 K 3 6 / 0 6）[2, 2 0 1 5. 0 1]
- 35/68 ・・原生動物, 例. 鞭毛虫, アメーバ, 胞子虫, プラズモジウムまたはトキソプラズマ [2]
- 35/74 ・・バクテリア（バクテリア蛋白質の治療への使用A 6 1 K 3 8 / 0 0）[2, 2 0 1 5. 0 1]
- 35/741 ・・・腸内有益菌（腸内酵母, 例. サッカロミセスA 6 1 K 3 6 / 0 6）[2 0 1 5. 0 1]
- 35/742 ・・・芽胞形成菌, 例. パチラスコアグランス, 枯草菌, クロストリジウム属または有孢子性乳酸菌 [2 0 1 5. 0 1]
- 35/744 ・・・・乳酸菌, 例. エンテロコッカス属, ペディオコッカス属, ラクトコッカス属, 連鎖球菌またはリューコノストック属 [2 0 1 5. 0 1]
- 35/745 ・・・・・ビフィドバクテリウム属 [2 0 1 5. 0 1]
- 35/747 ・・・・・ラクトバシラス属, 例. アシドフィルス菌またはブレビス菌 [2 0 1 5. 0 1]
- 35/748 ・・・シアノバクテリア, すなわち藍染細菌または藍藻類, 例. スピルリナ（藻類, 微細藻類または微細植物A 6 1 K 3 6 / 0 2）[2 0 1 5. 0 1]
- 35/76 ・・ウイルス；サブウイルス粒子；バクテリオファージ [2, 2 0 1 5. 0 1]
- 35/761 ・・・アデノウイルス [2 0 1 5. 0 1]
- 35/763 ・・・ヘルペスウイルス [2 0 1 5. 0 1]
- 35/765 ・・・レオウイルス；ロタウイルス [2 0 1 5. 0 1]
- 35/766 ・・・ラウドウイルス, 例. 水疱性口内炎ウイルス [2 0 1 5. 0 1]
- 35/768 ・・・グループA 6 1 K 3 5 / 7 6 1 ~ A 6 1 K 3 5 / 7 6 6 に分類されない腫瘍溶解性ウイルス [2 0 1 5. 0 1]

36/00 藻類, 地衣類, 菌類もしくは植物またはそれらの派生物からの物質を含有する構造未知の医薬品製剤, 例. 伝統的生薬 [8]

注

(1) このグループにおいては, 植物の一般名称は, それが記載されている場合は, これに相当するラテン語名に続いてかっこで括って表記される。[8]

(2) このグループにおいては, インデキシングコードA 6 1 K 1 2 5 / 0 0 ~ A 6 1 K 1 3 5 / 0 0 を付加することが望ましい。[8]

- 36/02 ・藻類 [8]
- 36/03 ・・褐藻植物, 例. ヒバマタ [8]
- 36/04 ・・紅藻植物, 例. ノリ [8]
- 36/05 ・・緑藻植物, 例. クロレラ [8]

- 36/06 ・菌類, 例. 酵母 [8]
- 36/062 ・・子囊菌 [8]
- 36/064 ・・・サッカロミケス科, 例. パン酵母 [8]
- 36/066 ・・・バツカクキン科 [8]
- 36/068 ・・・・冬虫夏草属 [8]
- 36/07 ・・担子菌, 例. 担子菌酵母 [8]
- 36/074 ・・・靈芝 [8]
- 36/076 ・・・ブクリョウ [8]
- 36/09 ・地衣類 [8]
- 36/10 ・コケ植物門 [8]
- 36/11 ・シダ植物門 [8]
- 36/12 ・・シダ綱 [8]
- 36/126 ・・・ドリナリア科 [8]
- 36/13 ・球果植物門 [8]
- 36/14 ・・ヒノキ科, 例. ビャクシンまたはイトスギ [8]
- 36/15 ・・マツ科, 例. マツまたはヒマラヤスギ [8]
- 36/16 ・イチョウ門, 例. イチョウ科 [8]
- 36/17 ・マオウ門, 例. マオウ科 [8]
- 36/18 ・被子植物門 [8]
- 36/185 ・・モクレン綱（双子葉植物）[8]
- 36/19 ・・・キツネノマゴ科 [8]
- 36/195 ・・・・イセハナビ属 [8]
- 36/20 ・・・カエデ科 [8]
- 36/21 ・・・ヒユ科, 例. アオゲイトウ, ロックワートまたはセンニチコウ [8]
- 36/22 ・・・ウルシ科, 例. ハグマノキ, ウルシまたはポイズンオーク [8]
- 36/23 ・・・セリ科, 例. ディル, チャービル, コリアンダまたはクミン [8]
- 36/232 ・・・・シシウド属 [8]
- 36/233 ・・・・ミシマサイコ属 [8]
- 36/234 ・・・・ハマゼリ属 [8]
- 36/235 ・・・・ウイキョウ属 [8]
- 36/236 ・・・・マルバトウキ属 [8]
- 36/237 ・・・・キョウカツ [8]
- 36/238 ・・・・ボウフウ [8]
- 36/24 ・・・キョウチクトウ科, 例. プルメリアまたはツルニチソウ
- 36/25 ・・・ウコギ科, 例. アイヴィー, タラノキ, シェフレラまたはカミヤツデ [8]
- 36/254 ・・・・ウコギ属 [8]
- 36/258 ・・・・オタネニンジン属 [8]
- 36/26 ・・・ウマノスズクサ科, 例. カンアオイ [8]
- 36/264 ・・・・ウマノスズクサ属 [8]
- 36/268 ・・・・フタバアオイ属 [8]
- 36/27 ・・・ガガイモ科, 例. サクララン [8]
- 36/28 ・・・キク科, 例. カモミール, ナツシロギク, ノコギリソウまたはエキナセア [8]
- 36/282 ・・・・ヨモギ属, 例. ヨモギまたはヤマ

	ヨモギ [8]	36/482	・ ・ ・ ・ カワラケツメイ属, 例. ナンバンサイカチ [8]
36/284	・ ・ ・ ・ オケラ属 [8]	36/483	・ ・ ・ ・ サイカチ属 [8]
36/285	・ ・ ・ ・ 唐木香 [8]	36/484	・ ・ ・ ・ カンゾウ属 [8]
36/286	・ ・ ・ ・ ベニバナ属 [8]	36/485	・ ・ ・ ・ ベイコウタイ属 [8]
36/287	・ ・ ・ ・ キク属, 例. ヒナギク [8]	36/486	・ ・ ・ ・ ナツフジ属 [8]
36/288	・ ・ ・ ・ タンポポ属 [8]	36/487	・ ・ ・ ・ オランダビユ属 [8]
36/289	・ ・ ・ ・ 川木香 [8]	36/488	・ ・ ・ ・ クズ属 [8]
36/29	・ ・ ・ ・ メギ科, 例. メギ, ショウマまたはアメリカミヤオソウ [8]	36/489	・ ・ ・ ・ クララ属, 例. イソフジまたはママネ [8]
36/296	・ ・ ・ ・ イカリソウ属 [8]	36/49	・ ・ ・ ・ ブナ科, 例. カシまたはトチ [8]
36/30	・ ・ ・ ・ ムラサキ科, 例. コンフリー, ラングワートまたはワスレナグサ [8]	36/50	・ ・ ・ ・ ケマンソウ科, 例. コマクサ [8]
36/31	・ ・ ・ ・ アブラナ科, 例. ブロッコリー, キャベツまたはコールラビ [8]	36/505	・ ・ ・ ・ キケマン属 [8]
36/315	・ ・ ・ ・ タイセイ属, 例. ホソバタイセイ [8]	36/51	・ ・ ・ ・ リンドウ科 [8]
36/32	・ ・ ・ ・ カンラン科 [8]	36/515	・ ・ ・ ・ リンドウ属 [8]
36/324	・ ・ ・ ・ ボスヴェリア, 例. 乳香 [8]	36/52	・ ・ ・ ・ クルミ科 [8]
36/328	・ ・ ・ ・ コミフォラ属, 例. 没薬またはギリアドバルサム [8]	36/53	・ ・ ・ ・ シソ科, 例. タイム, ローズマリーまたはラベンダー [8]
36/33	・ ・ ・ ・ サボテン科, 例. ウチワサボテンまたはハシラサボテン	36/532	・ ・ ・ ・ カワミドリ属, 例. アガスタケ [8]
36/34	・ ・ ・ ・ キキョウ科 [8]	36/533	・ ・ ・ ・ メハジキ属 [8]
36/342	・ ・ ・ ・ ツリガネニンジン属 [8]	36/534	・ ・ ・ ・ ハッカ属 [8]
36/344	・ ・ ・ ・ ツルニンジン属 [8]	36/535	・ ・ ・ ・ シソ属 [8]
36/346	・ ・ ・ ・ キキョウ属 [8]	36/536	・ ・ ・ ・ ウツボグサ属 [8]
36/35	・ ・ ・ ・ スイカズラ科 [8]	36/537	・ ・ ・ ・ サルビア属 [8]
36/355	・ ・ ・ ・ スイカズラ属 [8]	36/538	・ ・ ・ ・ ケイガイ属 [8]
36/36	・ ・ ・ ・ ナデシコ科, 例. カスミソウまたはサボンソウ [8]	36/539	・ ・ ・ ・ タツナミソウ属 [8]
36/37	・ ・ ・ ・ ニシキギ科, 例. クロズルまたはオウシュウニシキギ [8]	36/54	・ ・ ・ ・ クスノキ科, 例. シナモンまたはサッサfras [8]
36/38	・ ・ ・ ・ オトギリソウ科 (ヒペリカムまたはマンゴスチン科), 例. コモン・セントジョーンズワート [8]	36/55	・ ・ ・ ・ アマ科, 例. アマ [8]
36/39	・ ・ ・ ・ ヒルガオ科, 例. ヒルガオ [8]	36/56	・ ・ ・ ・ ホウライカズラ科, 例. ノウゼンカズラまたはセッコソウ [8]
36/40	・ ・ ・ ・ ミズキ科 [8]	36/57	・ ・ ・ ・ モクレン科 [8]
36/41	・ ・ ・ ・ ベンケイソウ科 [8]	36/575	・ ・ ・ ・ モクレン属 [8]
36/42	・ ・ ・ ・ ウリ科 [8]	36/58	・ ・ ・ ・ センダン科, 例. インドセンダン (ニーム) [8]
36/424	・ ・ ・ ・ アマチャズル属 [8]	36/59	・ ・ ・ ・ ツヅラフジ科, 例. アオツヅラフジまたはコーラルビーズ [8]
36/428	・ ・ ・ ・ カラスウリ属 [8]	36/60	・ ・ ・ ・ クワ科, 例. パンノキまたはイチジク [8]
36/43	・ ・ ・ ・ ネナシカズラ科, 例. ネナシカズラまたはクシロネナシカズラ [8]	36/605	・ ・ ・ ・ クワ属 [8]
36/44	・ ・ ・ ・ カキノキ科, 例. カキ [8]	36/61	・ ・ ・ ・ フトモモ科, 例. ティーツリーまたはユーカリ [8]
36/45	・ ・ ・ ・ ツツジ科またはコケモモ科, 例. ブルーベリー, クランベリーまたはビルベリー [8]	36/62	・ ・ ・ ・ スイレン科 [8]
36/46	・ ・ ・ ・ トチュウ科, 例. トチュウ [8]	36/63	・ ・ ・ ・ モクセイ科, 例. ジャスミン, ライラックまたはネリコノキ [8]
36/47	・ ・ ・ ・ トウダイグサ科, 例. ヒマ (トウゴマ) [8]	36/634	・ ・ ・ ・ レンギョウ属 [8]
36/48	・ ・ ・ ・ マメ科; ジャケツイバラ科; ネムノキ科; 蝶形花亜科 [8]	36/638	・ ・ ・ ・ イボタノキ属, 例. トウネズミモチ [8]
36/481	・ ・ ・ ・ ゲンゲ属 [8]	36/64	・ ・ ・ ・ ハマウツボ科 [8]
		36/65	・ ・ ・ ・ ボタン科, 例. シャクヤク [8]
		36/66	・ ・ ・ ・ ケシ科, 例. アカネグサ [8]
		36/67	・ ・ ・ ・ コシヨウ科, 例. ジャマイカンペーパーまたはカバ [8]

A 6 1 K

36/68	・・・オオバコ科 [8]	36/86	・・・スミレ科 [8]
36/69	・・・ヒメハギ科 [8]	36/87	・・・ブドウ科, 例. ヨーロッパブドウ, マスカダインまたはペパー・パイン [8]
36/70	・・・タデ科, 例. スピンフラワーまたは ギシギシ [8]	36/88	・・・ユリ綱 (単子葉植物) [8]
36/704	・・・タデ属, 例. タデ [8]	36/882	・・・ショウブ科, 例. スイートフラッグ またはショウブ [8]
36/708	・・・ダイオウ属 [8]	36/884	・・・オモダカ科 [8]
36/71	・・・キンボウゲ科, 例. ヒエンソウ, ス ハマソウ, ヒドラステス, オダマキまた はゴールデンシール [8]	36/886	・・・アロエ科, 例. アロエ・ベラ [8]
36/714	・・・トリカブト属 [8]	36/888	・・・サトイモ科, 例. カラジウム, カイ ウまたはミズバショウ [8]
36/716	・・・センニンソウ属 [8]	36/8884	・・・テンナンショウ属, 例. マムシグ サ [8]
36/718	・・・オウレン属 [8]	36/8888	・・・ハング属 [8]
36/72	・・・クロウメモドキ科, 例. クロウメモ ドキ, ハブラシノキまたはカサノキ [8]	36/889	・・・ヤシ科, 例. ナツメヤシ若しくはコ コヤシの木またはバルメット [8]
36/725	・・・ナツメ属, 例. ナツメ [8]	36/8895	・・・トウ属, 例. トウ [8]
36/73	・・・バラ科, 例. イチゴ, チョコベリー, クロイチゴ, ナシまたはトキワサンザシ [8]	36/89	・・・カヤツリグサ科 [8]
36/732	・・・ボケ属, 例. ボケ [8]	36/8905	・・・シペラス属 [8]
36/734	・・・サンザシ属 [8]	36/894	・・・ヤマノイモ科 [8]
36/736	・・・サクラ属, 例. スモモ, サクラン ボ, モモ, アンズまたはアーモンド [8]	36/8945	・・・ヤムイモ, 例. ヤム, ナガイモま たはダイジョ [8]
36/738	・・・バラ属 [8]	36/896	・・・ユリ科, 例. ゼンテイカ, ギボウシ, ヒヤシンスまたはスイセン [8]
36/739	・・・ワレモコウ属 [8]	36/8962	・・・ネギ属, 例. 栽培用タマネギ, ネ ギ, ニンニクまたはチャイブ [8]
36/74	・・・アカネ科 [8]	36/8964	・・・ハナスゲ [8]
36/744	・・・クチナシ属 [8]	36/8965	・・・アスパラガス, 例. 栽培用アスパ ラガスまたはシノブボウキ [8]
36/746	・・・ヤエヤマアオキ属 [8]	36/8966	・・・バイモ属, 例. ヨウラクユリまた はミッションベル [8]
36/748	・・・フタバムグラ属 [8]	36/8967	・・・ユリ属, 例. オニユリまたはテッ ポウユリ [8]
36/75	・・・ミカン科 [8]	36/8968	・・・ジャノヒゲ属 [8]
36/752	・・・ミカン属, 例. ライム, オレンジ またはレモン [8]	36/8969	・・・アマドコロ属 [8]
36/754	・・・ゴシュユ属 [8]	36/898	・・・ラン科 [8]
36/756	・・・キハダ属, 例. キハダ [8]	36/8984	・・・セッコク属 [8]
36/758	・・・サンショウ属, 例. サンショウ [8]	36/8988	・・・オニノヤガラ属 [8]
36/76	・・・ヤナギ科, 例. ポプラ [8]	36/899	・・・イネ科, 例. タケ, トウモロコシま たはサトウキビ [8]
36/77	・・・ムクロジ科, 例. ライチまたはムク ロジ [8]	36/8994	・・・ジュズダマ属 [8]
36/78	・・・ドクダミ科 [8]	36/8998	・・・オオムギ属 [8]
36/79	・・・マツブサ科 [8]	36/90	・・・サルトリイバラ科, 例. サルトリイ バラまたはサルサパリラ [8]
36/80	・・・ゴマノハグサ科 [8]	36/902	・・・ミクリ科 [8]
36/804	・・・ジオウ属 [8]	36/904	・・・ビャクブ科, 例. ナベワリ [8]
36/808	・・・ゴマノハグサ属 [8]	36/906	・・・ショウガ科 [8]
36/81	・・・ナス科, 例. タバコ, イヌホウズキ, トマト, ベラドンナ, トウガラシまたは チョウセンアサガオ [8]	36/9062	・・・ハナミショウガ属, 例. レッドジ ンジャーまたはリョウキョウ [8]
36/815	・・・クコ属 [8]	36/9064	・・・アモナム属, 例. ラウンドカルダ モン [8]
36/82	・・・ツバキ科, 例. ツバキ [8]	36/9066	・・・ウコン属, 例. コモン・ターメリ ック, 東インドアロールートまたはマン ゴー・ジンジャー [8]
36/83	・・・ジンチョウゲ科, 例. カワノキまた はフォルス・オヘロ [8]		
36/835	・・・ジンコウ属 [8]		
36/84	・・・オミナエシ科, 例. カノコソウ [8]		
36/85	・・・クマツヅラ科 [8]		
36/855	・・・クサギ属, 例. クサギ [8]		

36/9068 ・・・・ショウガ属, 例. 栽培用ショウガ
[8]

38/00 ペプチドを含有する医療製剤 (β-ラクタム環含有ペプチドA 6 1 K 3 1 / 0 0 ; 環状ジペプチドであって, その分子中にその環を形成するペプチド結合以外のペプチド結合を有しないもの, 例. ピペラジン-2, 5-ジオンA 6 1 K 3 1 / 0 0 ; エルゴリンに基づくペプチドA 6 1 K 3 1 / 4 8 ; 分子中に統計学的に分布されているアミノ酸単位を有する高分子化合物を含有するものA 6 1 K 3 1 / 7 4 ; 抗原または抗体を含有する医療製剤A 6 1 K 3 9 / 0 0 ; 不活性成分に特徴のある医療製剤, 例. 薬剤担体としてのペプチド, A 6 1 K 4 7 / 0 0) [2 0 0 6. 0 1]

注

(1) このグループで使用する用語や表現はサブクラスC 0 7 Kのタイトルに続く(注) 1 の定義に厳密に従ったものである。
[6]

(2) ペプチド断片を含む製剤, あるいはアミノ酸の除去や付加によって, またはアミノ酸の他のものへの置換によって, もしくはこうした修飾物の組合わせによって修飾されたペプチドを含む製剤は, 親ペプチドを含む製剤として分類する。ただし4以下のアミノ酸しか持たないペプチド断片を含む製剤は, グループ3 8 / 0 5 ~ 3 8 / 0 7 にも分類する。[6]

(3) 組換えDNA技術によって製造されたペプチドを含む製剤は, ホストではなく発現させた元のペプチドに基づいて分類する, 例. 大腸菌の中で発現させたH I Vペプチドを含む製剤はH I Vペプチドを含む製剤に分類する [6]

38/01 ・加水分解した蛋白質; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/02 ・不確定数のアミノ酸のペプチド; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/03 ・不確定配列または部分的にのみ確定した配列中にの2 0 以下のアミノ酸をもつペプチド; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/04 ・完全に確定した配列中にの, 2 0 以下のアミノ酸をもつペプチド; その誘導体(ガストリンA 6 1 K 3 8 / 1 6, ソマトスタチンA 6 1 K 3 8 / 3 1, メラノトロピンA 6 1 K 3 8 / 3 4) [2 0 0 6. 0 1]

38/05 ・ジペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/06 ・トリペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/07 ・テトラペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/08 ・5 ~ 1 1 のアミノ酸をもつペプチド [2 0 1 9. 0 1]

38/09 ・黄体形成ホルモン放出ホルモン [L H R H]; 関連ペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/095 ・オキシトシン; バソプレシン; 関連ペプチド [2 0 1 9. 0 1]

38/10 ・1 2 ~ 2 0 のアミノ酸をもつペプチド

[2 0 0 6. 0 1]

38/12 ・環状ペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/13 ・サイクロスポリン [2 0 0 6. 0 1]

38/14 ・糖類基を含有するペプチド; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/15 ・デブシペプチド; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/16 ・2 1 以上のアミノ酸をもつペプチド; ガストリン; ソマトスタチン; メラノトロピン; その誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

38/17 ・動物由来; ヒト由来 [2 0 0 6. 0 1]

38/18 ・成長因子; 成長調節因子 [2 0 0 6. 0 1]

38/19 ・サイトカイン; リンフォカイン; インターフェロン [2 0 0 6. 0 1]

38/20 ・インターロイキン [2 0 0 6. 0 1]

38/21 ・インターフェロン [2 0 0 6. 0 1]

38/22 ・ホルモン (プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したものA 6 1 K 3 8 / 3 3, 例. コルチコトロピンA 6 1 K 3 8 / 3 5) [2 0 0 6. 0 1]

38/23 ・カルシトニン [2 0 0 6. 0 1]

38/24 ・卵胞刺激ホルモン [F S H]; 絨毛性性腺刺激ホルモン, 例. H C G ; 黄体形成ホルモン [L H]; 甲状腺刺激ホルモン [T S H] [6]

38/25 ・成長ホルモン放出因子 [G H R F], すなわちソマトリベリン [2 0 0 6. 0 1]

38/26 ・グルカゴン [2 0 0 6. 0 1]

38/27 ・成長ホルモン [G H], すなわちソマトトロピン [2 0 0 6. 0 1]

38/28 ・インシュリン [2 0 0 6. 0 1]

38/29 ・副甲状腺ホルモン, すなわちパラトルモン; 副甲状腺ホルモン関連ペプチド [2 0 0 6. 0 1]

38/30 ・インシュリン様成長因子, すなわちソマトメジン, 例. I G F - 1, I G F - 2 [2 0 0 6. 0 1]

38/31 ・ソマトスタチン [2 0 0 6. 0 1]

38/32 ・チモポイエチン [2 0 0 6. 0 1]

38/33 ・プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したもの [2 0 0 6. 0 1]

38/34 ・メラノサイト刺激ホルモン [M S H], 例. α-メラノトロピンまたはβ-メラノトロピン [6]

38/35 ・コルチコトロピン [A C T H] [6]

38/36 ・血液凝固または繊維素溶解因子 [2 0 0 6. 0 1]

A 6 1 K

- 38/37 ・・・・第V I I I 因子 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/38 ・・・・アルブミン [2 0 0 6. 0 1]
- 38/39 ・・・・結合組織ペプチド, 例. コラーゲン,
エラスチン, ラミニン, フィブロネクチン,
ビトロネクチン, 寒冷不溶性グロブリン [C I G] [6]
- 38/40 ・・・・トランスフェリン, 例. ラクトフェリン,
オボトランスフェリン [2 0 0 6. 0 1]
- 38/41 ・・・・ポリフィリン環含有ペプチド, または
コリン環含有ペプチド [2 0 0 6. 0 1]
- 38/42 ・・・・ヘモグロビン; ミオグロビン [2 0 0 6. 0 1]
- 38/43 ・・・・酵素; 酵素前駆体; それらの誘導体 [2 0 0 6. 0 1]

注

このグループにおいては:

—酵素前駆体は対応する酵素に分類する;

—酵素は一般に国際酵素委員会の“酵素の命名および分類法”に従って分類する。該当する分類は以下のサブグループにおいて括弧内に表示する。[6]

- 38/44 ・・・・酸化還元酵素 (1) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/45 ・・・・トランスフェラーゼ (2) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/46 ・・・・加水分解酵素 (3) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/47 ・・・・グリコシル化合物に作用するもの (3. 2), 例. セルラーゼ, ラクターゼ [2 0 0 6. 0 1]
- 38/48 ・・・・ペプチド結合に作用するもの (3. 4) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/49 ・・・・ウロキナーゼ; 組織プラスミノゲン活性化因子 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/50 ・・・・ペプチド結合以外の炭素—窒素結合に作用するもの (3. 5), 例. アスパラギナーゼ [2 0 0 6. 0 1]
- 38/51 ・・・・リアーゼ (4) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/52 ・・・・イソメラーゼ (5) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/53 ・・・・リガーゼ (6) [2 0 0 6. 0 1]
- 38/54 ・・・・A 6 1 K 3 8 / 4 4 ~ A 6 1 K 3 8 / 4 6, または A 6 1 K 3 8 / 5 1 ~ A 6 1 K 3 8 / 5 3 の, 2 以上のグループに分類される酵素または酵素前駆体の混合物 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/55 ・・・・プロテアーゼ阻害剤 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/56 ・・・・植物由来 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/57 ・・・・動物由来; ヒト由来 [2 0 0 6. 0 1]
- 38/58 ・・・・ヒル由来, 例. ヒルジン, エグリン [2 0 0 6. 0 1]
- 39/00 抗原または抗体を含有する医薬品製剤 (免疫分析用物質 G 0 1 N 3 3 / 5 3) [2]

注

(1) 抗原あるいは抗体組成物の調製は, 微生物の培養工程に

特徴がある場合, サブクラス C 1 2 N にも分類する。[3]

(2) グループ 3 9 / 0 0 2 から 3 9 / 1 2 は, 原生動物, バクテリア, ウィルスまたはそれらのサブユニットを含む製剤, 例. 膜成分, を包含する。[3]

- 39/002 ・原生動物抗原 [3]
- 39/005 ・・・・トリパノゾーマ抗原 [3]
- 39/008 ・・・・リーシュマニア抗原 [3]
- 39/012 ・・・・コクシジウム抗原 [3]
- 39/015 ・・・・住血胞子虫抗原, 例. プラズモジウム抗原 [3]
- 39/018 ・・・・バベシア抗原, 例. タイレリア抗原 [3]
- 39/02 ・バクテリアの抗原 [2]
- 39/04 ・・・・ミコバクテリウム属, 例. 結核菌 [2, 3]
- 39/05 ・・・・コリネバクテリウム属; プロピオンバクテリウム属 [3]
- 39/07 ・・・・桿菌 [3]
- 39/08 ・・・・クロストリジウム属, 例. 破傷風菌 [2]
- 39/085 ・・・・ブドウ球菌 [3]
- 39/09 ・・・・連鎖球菌 [3]
- 39/095 ・・・・ナイセリア属 [3]
- 39/10 ・・・・ブルセラ属; ボルデテラ属, 例. 百日咳菌 [2, 3]
- 39/102 ・・・・パスツレラ属; ヘモフィラス属 [3]
- 39/104 ・・・・シュードモナス属 [3]
- 39/106 ・・・・ビブリオ; カンピロバクター [3]
- 39/108 ・・・・エシエリヒア属; クレブシエラ属 [3]
- 39/112 ・・・・サルモネラ属; シゲラ属 [3]
- 39/114 ・・・・フゾバクテリウム属 [3]
- 39/116 ・・・・多価バクテリア抗原 [3]
- 39/118 ・・・・クラミジア, 例. トラコーマクラミジアまたはオウム病クラミジア [3]
- 39/12 ・ウィルス抗原 [2]
- 39/125 ・・・・ピコルナウイルス科, 例. カリシウイルス [3]
- 39/13 ・・・・ポリオウイルス [3]
- 39/135 ・・・・口蹄疫ウイルス [3]
- 39/145 ・・・・オルソミクソウイルス科, 例. インフルエンザウイルス [3]
- 39/15 ・・・・レオウイルス科, 例. 子牛の下痢ウイルス [3]
- 39/155 ・・・・パラミクソウイルス科, 例. パラインフルエンザウイルス [3]
- 39/165 ・・・・ムンプスまたは麻疹ウイルス [3]
- 39/17 ・・・・ニューカッスル病ウイルス [3]
- 39/175 ・・・・犬のジステンパーウイルス [3]
- 39/187 ・・・・豚コレラウイルス [3]
- 39/193 ・・・・馬の脳脊髄炎ウイルス [3]
- 39/20 ・・・・風疹ウイルス [2]
- 39/205 ・・・・ラブドウイルス科, 例. 狂犬病ウイルス [3]
- 39/21 ・・・・レトロウイルス科, 例. 馬伝染性貧血

	ウイルス [3]	40/17	・・単球；マクロファージ [2025. 01]
39/215	・・コロナウイルス科，例．ニワトリ伝染性気管支炎ウイルス [3]	40/19	・・樹状細胞 [2025. 01]
39/225	・・・豚传染性胃腸炎ウイルス [3]	40/20	・細胞の効能または機能に特徴のあるもの [2025. 01]
39/23	・・パルボウイルス科，例．猫汎白血球減少症ウイルス [3]	40/22	・・免疫抑制性または免疫寛容性 [2025. 01]
39/235	・・アデノウイルス科 [3]	40/24	・・抗原提示細胞 [APC] [2025. 01]
39/245	・・ヘルペスウイルス科，例．単純性ヘルペスウイルス [3]	40/30	・免疫系の細胞中の特定の分子の組換え発現に特徴のあるもの [2025. 01]
39/25	・・・水痘一帯状疱疹ウイルス [3]	40/31	・・キメラ抗原受容体 [CAR] [2025. 01]
39/255	・・・マレック病ウイルス [3]	40/32	・・T細胞受容体 [TCR] [2025. 01]
39/265	・・・伝染性気管支炎ウイルス [3]	40/33	・・抗体；T細胞エンゲージャー [2025. 01]
39/27	・・・馬の肺炎ウイルス [3]	40/34	・・抗原性ペプチド [2025. 01]
39/275	・・ボックスウイルス科，例．アビボックスウイルス [3]	40/35	・・サイトカイン [2025. 01]
39/285	・・・種痘ウイルスまたは痘瘡ウイルス [3]	40/36	・・免疫チェックポイント阻害剤 [2025. 01]
39/29	・・肝炎ウイルス [3]	40/40	・免疫系の細胞により標的とされる，または提示される抗原に特徴のあるもの [2025. 01]
39/295	・・多価ウイルス抗原（種痘ウイルスまたは痘瘡ウイルス A 6 1 K 3 9 / 2 8 5）；ウイルス抗原とバクテリア抗原との多価抗原 [3]	40/41	・・脊椎動物の抗原 [2025. 01]
39/35	・アレルゲン [3]	40/42	・・・がん抗原 [2025. 01]
39/36	・・花粉からのもの [2, 3]	40/43	・・原生動物抗原 [2025. 01]
39/38	・蛇からの抗原 [2]	40/44	・・真菌抗原 [2025. 01]
39/385	・担体に結合したハプテンまたは抗原 [3]	40/45	・・バクテリアの抗原 [2025. 01]
39/39	・免疫促進付加物によって特徴づけられたもの，例．化学的アジュバント [3]	40/46	・・ウイルス抗原 [2025. 01]
39/395	・抗体（凝集素 A 6 1 K 3 8 / 3 6）；免疫グロブリン；免疫血清，例．抗リンパ球血清 [3]	40/48	・・アレルゲン [2025. 01]
39/40	・・バクテリア性のもの [2, 3]	40/50	・同種異系細胞の使用に特徴のあるもの [2025. 01]
39/42	・・ウイルス性のもの [2, 3]	41/00	波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することによって得られる医薬品製剤 [2020. 01]
39/44	・・担体に結合した抗体 [2, 3]	41/10	・動物またはヒトへの投与前の医薬品製剤の不活性化または汚染除去 [2020. 01]
40/00	細胞免疫療法（抗原または抗体を含有する医薬品製剤 A 6 1 K 3 9 / 0 0） [2025. 01]	41/13	・・超音波によるもの [2020. 01]
注		41/17	・・紫外光 [UV] または赤外光 [IR]，X線またはガンマ線によるもの [2020. 01]
1. このグループは，治療において用いるための特定の抗原または抗原の混合物を提示するまたは標的とする免疫系の分離細胞を包含する。		45/00	A 6 1 K 3 1 / 0 0 ~ A 6 1 K 4 1 / 0 0 に属さない活性成分を含有する医薬品製剤 [2, 6]
2. このメイングループではラストプレイス優先ルールが適用されない，すなわち共通ルールが適用される。 [2025. 01]		45/06	・化学的特性をもたない活性成分の混合物，例．消炎剤および強心剤 [2]
40/10	・用いられる細胞の種類に特徴のあるもの [2025. 01]	45/08	・活性物質と化学的に特徴のない補助物質，例．抗ヒスタミン剤および表面活性物質，との混合物 [2]
40/11	・・T細胞，例．腫瘍浸潤リンパ球 [TIL] または制御性T [Treg] 細胞；リンホカイン活性化キラー [LAK] 細胞 [2025. 01]	47/00	使用する不活性成分，例．担体または不活性添加剤，に特徴のある医薬品製剤；活性
40/13	・・B細胞 [2025. 01]		
40/15	・・ナチュラルキラー [NK] 細胞；ナチュラルキラーT [NKT] 細胞 [2025. 01]		

成分と化学結合した標的剤または修飾剤 [2]	
47/02	・無機物質 [5]
47/04	・・非金属元素；その化合物 [5]
47/06	・有機物質，例．天然または合成の炭化水素，ポリオレフィン，鉱油，ペトロラタムまたはオゾケライト [5]
47/08	・・酸素を含有するもの [5]
47/10	・・・アルコール；フェノール；それらの塩，例．グリセリン；ポリエチレングリコール [PEG]；ポロキサマー；PEG／POEアルキルエーテル [2017.01]
47/12	・・・カルボン酸；その塩または無水物 [2006.01]
47/14	・・・カルボン酸のエステル，例．脂肪酸モノグリセリド，中鎖トリグリセリド，パラベンまたはPEG脂肪酸エステル [2017.01]
47/16	・・窒素を含有するもの [2006.01]
47/18	・・・アミン；アミド；尿素；第四級アンモニウム化合物；アミノ酸；5個までのアミノ酸を有するオリゴペプチド [2017.01]
47/20	・・硫黄を含有するもの，例．ジメチルスルホキシド [DMSO]，ドクサート，ラウリル硫酸ナトリウムまたはアミノスルホン酸 [2006.01]
47/22	・・複素環式化合物，例．アスコルビン酸，トコフェロールまたはピロリドン [2006.01]
47/24	・・炭素，水素，酸素，ハロゲン，窒素または硫黄以外の原子を含有するもの，例．シクロメチコンまたはリン脂質 [2006.01]
47/26	・・炭水化物，例．糖アルコール，アミノ糖，核酸，単糖，二糖またはオリゴ糖；その誘導体，例．ポリソルベート，ソルビタン脂肪酸エステルまたはグリチルリチン [2006.01]
47/28	・・ステロイド，例．コレステロール，胆汁酸またはグリチルレチン酸 [2006.01]
47/30	・高分子有機化合物または高分子無機化合物，例．無機ポリリン酸 [2006.01]
47/32	・・炭素－炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物，例．カルボマー [2006.01]
47/34	・・炭素－炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物，例．ポリエステル，ポリアミノ酸，ポリシロキサン，ポリホスファゼン，
47/36	・・多糖類；その誘導体，例．ガム，でんぷん，アルギン酸，デキストリン，ヒアルロン酸，キトサン，イヌリン，寒天またはペクチン [2006.01]
47/38	・・・セルロース；その誘導体 [2006.01]
47/40	・・・シクロデキストリン；その誘導体 [2006.01]
47/42	・・蛋白質；ポリペプチド；それらの分解生成物；それらの誘導体，例．アルブミン，ゼラチンまたはゼイン（5個までのアミノ酸を有するオリゴペプチド A61K47/18；ポリアミノ酸 A61K47/34） [2017.01]
47/44	・A61K47/02～A61K47/42の2以上のグループに該当する油，脂肪またはワックス；天然の油または変性された天然の油，脂肪またはワックス，例．ヒマシ油，ポリエトキシ化ヒマシ油，モンタンワックス，リグナイト，シェラック，ロジン，蜜蝋またはラノリン（合成グリセリド，例．中鎖トリグリセリド A61K47/14） [2017.01]
47/46	・構造不明の成分またはその反応生成物，例．皮膚，骨，乳，木綿繊維，卵殻，雄牛の胆汁または植物抽出物 [2006.01]
47/50	・活性成分と化学結合した不活性成分，例．重合体医薬結合体 [2017.01]
47/51	・・不活性成分が修飾剤であるもの [2017.01]
47/52	・・・修飾剤が無機物質であるもの，例．活性成分と複合体化された無機イオン [2017.01]
47/54	・・・修飾剤が有機化合物であるもの [2017.01]
47/55	・・・修飾剤が薬理的または治療的に活性剤でもあるもの，すなわち，結合体の全部がコドラッグであるもの，すなわち，薬理的または治療的に活性化化合物の二量体，オリゴマーまたはポリマー [2017.01]
47/56	・・・修飾剤が有機高分子化合物であるもの，例．オリゴマー，ポリマーまたは dendrimer [2017.01]
47/58	・・・炭素－炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるもの，例．ポリ（メタ）アクリレート，ポリアクリルアミド，ポリスチレン，ポリビニルピロリドン，ポリビニルアルコールまたはポリアルキレングリコールの共重合体またはポロキサマーの共重合体（A61K47/10が優先） [2017.01]

	リスチレンスルホン酸樹脂 [2017.01]	49/20	・フリーラジカルを含むもの [7]
47/59	・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られるもの, 例. ポリ尿素またはポリウレタン [2017.01]	49/22	・エコーグラフ用製剤; 超音波映像用製剤 [7]
47/60	・有機高分子化合物がポリオキシアルキレンのオリゴマー, ポリマーまたはデンドリマーであるもの, 例. PEG, PPG, PEOまたはポリグリセロール [2017.01]	50/00	生体内での治療または検査で使用する導電剤, 例. 心電計 [ECG] または経皮薬投与のために電極と共に使用される導電性接着剤またはゲル [2006.01]
47/61	・有機高分子化合物が多糖体またはその誘導体であるもの [2017.01]	51/00	生体内での治療または検査に用いる放射性物質を含有する製剤 [2006.01]
47/62	・修飾剤が蛋白質, ペプチドまたはポリアミノ酸であるもの [2017.01]	注 このグループにおいては, グループ101/00~103/00のインデキシングコードを付加することが望ましい。 [6]	
47/64	・医薬とペプチドの結合体, 医薬と蛋白質の結合体または医薬とポリアミノ酸の結合体, すなわち, 修飾剤が治療的活性剤に共有結合または複合体化したペプチド, 蛋白質またはポリアミノ酸であるもの (ペプチド性のリンカー A61K47/65) [2017.01]	51/02	・担体に特徴のあるもの [2006.01]
47/65	・ペプチド性のリンカー, 連結剤, スペーサー, 例. 酵素に不安定なペプチド性のリンカー [2017.01]	51/04	・有機化合物 [2006.01]
47/66	・修飾剤が特定の細胞を標的にするためにペプチドまたは蛋白質が関与するプレターゲティングシステムであるもの [2017.01]	51/06	・高分子化合物 [2006.01]
47/68	・修飾剤が抗体, 免疫グロブリンまたはそれらの断片であるもの, 例. Fc断片 [2017.01]	51/08	・ペプチド, 例. 蛋白質 [2006.01]
47/69	・結合体が物理的形態またはガレヌス形態に特徴を有するものであるもの, 例. エマルジョン, 粒子, 包接複合体, ステントまたはキット [2017.01]	51/10	・抗体または免疫グロブリン; それらのフラグメント [2006.01]
48/00	遺伝子疾病を治療するために生体の細胞内に挿入する遺伝子物質を含有する医療用製剤; 遺伝子治療 [5]	51/12	・特別の物理的形態に特徴のあるもの, 例. 乳濁液, マイクロカプセル, リボソーム [2006.01]
49/00	生体内試験のための製剤 [3]	放射性物質の性質または活性に関し, グループ51/00と関連するインデキシング系列 [6]	
49/04	・X線造影剤 [3]	101/00	放射性非金属 [6]
49/06	・核磁気共鳴 [NMR] 造影剤; 磁気共鳴映像法 [MRI] 造影剤 [2006.01]	101/02	・ハロゲン [6]
49/08	・担体に特徴があるもの [7]	103/00	放射性金属 [6]
49/10	・有機化合物 [7]	103/10	・テクネチウム; レニウム [6]
49/12	・高分子化合物 [7]	103/20	・インジウム [6]
49/14	・ペプチド, 例. 蛋白質 [7]	103/30	・希土類元素 [6]
49/16	・抗体; 免疫グロブリン; その断片 [7]	103/32	・イットリウム [6]
49/18	・特別な物理的形態に特徴があるもの, 例. エマルジョン, マイクロカプセル, リボソーム [7]	103/34	・ガドリニウム [6]
		103/36	・イッテルビウム [6]
		103/40	・アクチニド [6]
		医薬活性を有する植物の各部位に関し, グループ36/00と関連するインデキシング系列 [8]	
		125/00	根, 球根, 塊茎, 球茎または地下茎を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]
		127/00	葉を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]
		129/00	樹皮を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]
		131/00	種子, 木の実, 果実または穀物を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]
		133/00	花を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]
		135/00	茎, 柄, 枝, 小枝または新芽を含有するものまたはこれらから得られるもの [8]